

消防年報

令和 5 年 版

袋井市森町広域行政組合

は じ め に

この年報は、当行政組合の消防の現勢及び業務に関する事項について概要をまとめたものです。皆様の消防行政についての認識とご理解を深めていただく一助となれば幸いです。

なお、この年報は内容現在の記載のない災害活動に関する統計は、暦年（令和5年1月から令和5年12月）、その他のものにあつては年度（令和5年4月から令和6年3月）集計となります。

令和6年6月

袋井市森町広域行政組合
袋 井 消 防 本 部

一目統計

令和6年4月1日現在

面積・人口等 構成・人員	面積	人口・世帯数	消防職員	消防団員
	 森町 袋井市			
	袋井市 108.33 km ² 森町 133.91 km ² 計 242.24 km ²	袋井市 88,047 人 (世帯) 36,913 戸 森町 17,143 人 (世帯) 6,713 戸	137 人	袋井市 469 人 森町 293 人
消防	消防予算	消防庁舎	消防車	救急車
				
	消防費 1,793,455 千円	消防署 1 署 分署 2 署 分遣所 1 所	20 台	6 台
災害件数 (令和5年)	火災	救急	救助	119番通報
				
	28 件	4,175 件	39 件	5,423 件
予防	建築同意件数	立入検査数	危険物施設数	
				
	袋井市 105 件 森町 18 件 計 123 件	814 件	製造所 14 件 貯蔵所 360 件 取扱所 150 件	

目 次

沿 革

袋井消防本部の沿革	1
-----------------	---

概 況

広域行政組合の概況

1 袋井市森町広域行政組合管内情勢	14
(1) 組合の概況	14
(2) 面積、人口及び世帯数	14
(3) 管 内 図	15
2 消防の組織	16
(1) 消防本部・署	16
(2) 消 防 団	16
3 消防本部・署の分掌事務	17
4 歴代消防長	21
5 消防庁舎の配置と概要	22
6 消防相互応援協定の締結状況	24
7 その他応援協定の締結状況	24
8 表彰	24

総 務

総 務 の 概 況

1 職員の状況	25
(1) 消防職員配置状況・階級別消防職員数の状況	25
(2) 職員の階級別年齢状況	26
(3) 職員の勤続年数状況	26
(4) 職員教育実施状況	27

2	組合予算の状況	28
(1)	袋井市森町広域行政組合予算総括	28
(2)	歳入予算の内訳（当初予算）	28
(3)	歳出予算の内訳（当初予算）	29
(4)	一般会計と消防予算（当初予算）	29
(5)	消防費分担金の5か年の推移（当初予算）	29

予 防

予 防 の 概 況

1	主要事務事業	30
2	消防本部・消防署の立入検査状況	31
3	防火管理者選任状況	31
4	防火管理講習等実施状況	32
5	訓練指導等の状況	32
6	消防用設備等の検査状況	33
7	中高層建築物の状況	34
8	建築同意の状況	34
(1)	過去5年間の建築同意件数	34
(2)	用途別建築同意件数	35
9	袋井保安管理協会	36
10	幼少年女性防火委員会	36
(1)	少年消防クラブ	36
(2)	幼年消防クラブ	36
(3)	女性防火クラブ	37

危険物

危険物施設の概況

1	危険物施設の推移	38
2	危険物施設状況	39

火 災

火 災 の 概 況

1	令和5年中の火災	40
(1)	火災の状況	40
(2)	火災の概要（前年比較）	40
2	月別火災発生状況	41
3	出火原因別火災発生状況	42
4	地区別火災発生件数	43
(1)	袋井市	43
(2)	森町	43
5	過去5年間の火災発生状況	44
6	過去10年間の主な火災（損害額1千万円以上の火災）	45

無線・119

無線・119の概況

1	連絡の仕組み	46
2	消防無線の状況	47
3	中東遠地域災害情報受信状況	49
(1)	119番通報受付（切断）状況	49
(2)	袋井消防本部（袋井市・森町）月別119番通報受付状況	51
4	車載端末装置の設置状況	52

警 防

警 防 の 概 況

1	消防本部・消防署の車両状況	53
(1)	現有台数	53
(2)	配備状況	53
2	消防水利の状況	54

救 急

救 急 の 概 況

1	市町別救急出動状況	55
2	事故別救急出動状況	55
3	市町別事故別救急出動状況	56
4	年齢別搬送人員	57
5	市町別月別救急出動状況	57
6	地区別出動状況	58
7	傷病程度別搬送人員	59
8	病院・医院別搬送人員	59
9	最近5年間の救助出動及び活動件数	60
10	ドクターヘリ運用実績	60
11	ドクターカー運用実績	60

救 助

救 助 の 概 況

1	救助活動状況	61
2	事故種別発生場所別出動状況	61
3	月別出動状況	62
4	最近5年間の救助出動及び活動件数	62
5	救助工作車積載装備品一覧	63

浴

革

袋井消防本部の沿革

昭和 38 年 4 月 1 日	袋井市は、諸般の情勢から消防本部及び消防署設置の必要を認め、消防組織法（昭和 22 年法律第 226 号）第 10 条第 1 項及び第 3 項の規定に基づいて袋井市消防本部及び消防署を設置する。 <table> <tr> <td>消 防 本 部（署）の 位 置</td><td>袋井市高尾 1135 番地の 5</td></tr> <tr> <td>管 轄 区 域</td><td>袋井市全域</td></tr> <tr> <td>職 員 数</td><td>消防本部・6 人 消防署・12 人</td></tr> <tr> <td>消 防 車 両</td><td>指令車（日産ジュニア 可搬ポンプラビット B－2 級積載） 団共有 消防車（ダッシュ、団より返還 一部改造）</td></tr> </table> 以上の組織をもって発足する。庁舎は市役所第 3 会議室を使用。 上記の内、消防署勤務内定の 12 人は、昭和 38 年 3 月 15 日より浜松市消防本部に教養委託し一般教養訓練を受ける。	消 防 本 部（署）の 位 置	袋井市高尾 1135 番地の 5	管 轄 区 域	袋井市全域	職 員 数	消防本部・6 人 消防署・12 人	消 防 車 両	指令車（日産ジュニア 可搬ポンプラビット B－2 級積載） 団共有 消防車（ダッシュ、団より返還 一部改造）
消 防 本 部（署）の 位 置	袋井市高尾 1135 番地の 5								
管 轄 区 域	袋井市全域								
職 員 数	消防本部・6 人 消防署・12 人								
消 防 車 両	指令車（日産ジュニア 可搬ポンプラビット B－2 級積載） 団共有 消防車（ダッシュ、団より返還 一部改造）								
5 月 24 日	庁舎（市役所建物改造）事務室、仮眠室完成、移転し業務を行う。								
8 月 5 日	車庫（鉄骨スレート）完成する。ホースタワーは大和ハウス工業より寄贈をうける。								
12 月 24 日	消防ポンプ自動車（日産 F R 40 森田ポンプ A－2 級）購入、入魂式及び披露式を行う。								
昭和 39 年 1 月 2 日	開署当時の消防車、消防団第 21 分団に貸与する。								
2 月 12 日	消防専用短波無線、基地局 1 基、移動局 2 基設置する。								
昭和 40 年 1 月 1 日	消防本部、消防署設置が政令指定される。（政令第 107 号）								
昭和 41 年 6 月 21 日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（日産 F R 40 森田ポンプ A－2 級）1 台寄贈される。								
12 月 1 日	翌日消防団第 15 分団に貸与する。 静岡県西部 6 市消防団相互応援協定を締結する。 先に消防団第 15 分団に貸与した消防ポンプ自動車が返納され、消防署に配置、署の消防車 2 台となる。								
昭和 42 年 3 月 22 日	職員定数条例改正定数 27 人となる。								
昭和 43 年 5 月 2 日	法多山尊永寺より救急車（日産 セドリック C 型）1 台貸与され、法多山号と命名される。								
9 月 20 日	袋井市救急業務取扱規程を制定する。								
11 月 20 日	消防団第 21 分団に指令車（日産ジュニア 可搬ポンプ ラビット B－2 級搭載）を貸与する。								

昭和44年 1 月 22 日	日本道路公団より救急車（日産セドリック B型）1 台貸与される。
1 月 31 日	浜松市、磐田市、掛川市、菊川町の間で東名高速道路に関する 消防相互応援協定を締結する。
4 月 1 日	職員定数条例改正、定数 32 人とし、実数 29 人となる。
4 月 17 日	救急業務が政令指定される。（政令第 97 号）
10 月 2 日	従来の短波無線から超短波無線に変更する。
昭和45年 3 月 11 日	日本道路施設協会の寄付金及び国庫補助により救急車（トヨペットクラウン A型）1 台購入する。
3 月 16 日	消防用ホース 65 mmから 50 mmに変更される。
4 月 1 日	消防職員実数 32 人となる。
5 月 1 日	袋井市役所移転により旧庁舎の一部を改善し、事務室、通信室を移転する。
5 月 26 日	指令車を更新する。
昭和46年 4 月 1 日	隣接の森町、浅羽町を含めた袋井市外 2 町消防組合を発足職員定数条例改正 57 人となる。
6 月 1 日	森町、浅羽町、消防本部、消防署の設置が政令指定される。（自治省告示第 110 号）
8 月 20 日	森分署、浅羽分署に配置する消防ポンプ自動車（日産パトロール FH型森田ポンプ A－2 級）2 台購入する。
昭和47年 3 月 16 日	森分署配属の救急車（トヨタハイエース 2 B型）1 台購入する。
3 月 30 日	日本道路施設協会より救急車（トヨタハイエース 2 B型）1 台寄贈され、浅羽分署に配置する。
3 月 31 日	森分署、浅羽分署の開署式を挙行、両分署にそれぞれ消防車 1 台、救急車 1 台、 分署長以下 13 人で発足する。
4 月 1 日	森分署、浅羽分署業務開始、職員定数条例改正、定数 69 人とし、消防本部 7 人、 本署 31 人、森分署 13 人、浅羽分署 13 人、実数 64 人となる。
6 月 1 日	森分署、浅羽分署に本署職員各 2 人を配置替え、15 人となる。
7 月 31 日	連絡車（トヨペットコロナV）1 台購入、本署に配置する。
9 月 5 日	タンク車（日野KL300 森田ポンプ A－2 級）1 台購入、本署に配置する。
12 月 25 日	袋井市川井 996 番地の 2 に袋井消防本部（署）新庁舎落成、業務を開始する。
昭和48年 4 月 1 日	職員定数条例改正、定数 80 人となり、本部 10 人、本署 31 人、森分署 15 人、 浅羽分署 15 人、実数 71 人となる。
5 月 1 日	森分署に本署職員 2 人配置替えし、17 人となる。
7 月 15 日	袋井消防署に救助隊結成、隊長以下 12 人で発足する。

昭和49年 3 月 15 日	救急指令装置を導入する。
4 月 1 日	消防職員増員により本署 36 人となり、総員 78 人となる。
8 月 30 日	森分署にタンク車（日野 K L 300 森田ポンプ A－2 級）1 台配置する。
昭和50年 4 月 1 日	消防職員増員により本部 12 人、本署 32 人、森分署 19 人、浅羽分署 17 人、実数 80 人となる。
11 月 5 日	日本損害保険協会より、消防ポンプ自動車（日産 F H 60 小池ポンプ A－1 級）寄贈、本署に配置する。
昭和51年 2 月 6 日	査察車（日産ブルーバード V 可搬ポンプラビット C－1 級 搭載）本部に設置、また本署に定置式可搬ポンプ（ラビット B－2 級）を配置する。
4 月 1 日	職員定数条例改正 84 人となり、本部 11 人、本署 35 人、森分署 20 人、浅羽分署 17 人、実数 83 人となる。
5 月 1 日	森分署に本署職員 2 人配置替えし、21 人となる。
昭和52年 3 月 4 日	袋井市外 2 町消防組合、袋井市消防団が消防庁長官表彰旗受彰
4 月 1 日	職員定数条例改正 86 人となり、浅羽分署に 2 人増員 19 人、実数 85 人となる。
5 月 27 日	森分署、浅羽分署に連絡車（三菱 H－J 26 可搬ポンプラビット C－1 級搭載）それぞれに配置する。
9 月 28 日	化学車 2 型（日野 K L 501 型 森田ポンプ A－2 級）購入、本署に配置する。
昭和53年 3 月 3 日	本署救急車（トヨタ P H 42 V P－J R T 2 B 型）を更新する。
7 月 20 日	森・浅羽分署に定置式可搬ポンプ（ラビット B－2 級）を配置する。
7 月 31 日	本署消防ポンプ車（日産 F H 60 森田ポンプ A－2 級）を更新する。
9 月 26 日	東京海上火災保険株式会社より広報兼地震対策車（三菱ジープ H J 46 9 人乗り可搬ポンプラビット C－1 級搭載）寄贈、本署に配置する。
9 月 30 日	本署車庫増築工事（鉄骨 99 m ² ）が竣工される。
10 月 20 日	情報収集用赤バイ（ホンダ C B 250）1 台購入、本署に配置する。
昭和54年 7 月 10 日	法多山尊永寺より査察車（日産サニー V）寄贈、本署に配置する。
8 月 21 日	総合気象観測装置の整備をする。
昭和55年 3 月 21 日	救助工作車（日野 K L 505 ウインチ、クレーン、発電装置装備）購入、本署に配置する。
5 月 17 日	磐田信用金庫創立 30 周年記念により救急車 2 台寄贈され、森、浅羽分署救急車を更新する。
6 月 13 日	本署訓練場及び駐車場用地（1,140 m ² ）を購入する。
6 月 25 日	本署敷地内にコミュニティー防災センター（鉄筋コンクリート 267.62 m ² ）及び飲料用 100 t 水槽を竣工する。

昭和56年 3 月 25 日	袋井消防署にホースタワー（双葉ホースタワーA－22 型 540 万円）が完成する。
3 月 31 日	浅羽分署消防ポンプ車（日産F G 160A 森田ポンプA－2 級）を更新する。
5 月 1 日	袋井市同報無線開局に伴い、袋井消防署に放送装置を設置する。
9 月 8 日	袋井消防署「職員交通安全会」を設立する。
11 月 12 日	森分署庁舎増改築工事（2,880 万円）が竣工される。
昭和57年 4 月 1 日	職員 1 人増員、実数 86 人となる。
	組管内ガス事故発生時における応急対策に関する協定書を締結する。
7 月 3 日	陸上貨物運送事業労働災害防止協会静岡県支部より救急車 1 台寄贈され、 本署救急車を更新する。
8 月 26 日	現場本部車（日産キャラバン 9 人乗り ハイルーフV）購入、本署に配置する。
11 月 18 日	森分署消防ポンプ車（イスズエルフ K－T L D46 森田ポンプA－2 級）を更新する。
昭和58年 4 月 1 日	袋井市外 2 町消防組管内ガス保安対策連絡会議を設立する。
昭和59年 1 月 1 日	通信指令室を防災センターに移転、同時に消防救急指令装置を更新する。
1 月 31 日	本署待機室の一部改造工事を行う。
7 月 27 日	査察車（トヨタカリーナV）を本署に配置する。
8 月 8 日	袋井市よりマイクロバス（ミツビシ 29 人乗り）寄贈、本署に配置する。
3 月 31 日	職員 2 人退職により、実数 84 人となる。
昭和60年 4 月 1 日	本部職員 12 人、本署職員 36 人、森分署職員 19 人、浅羽分署職員 17 人となる。
昭和61年 2 月 28 日	小型動力ポンプ付水槽車を本署に配置、1 号車を更新する。
6 月 20 日	静岡県消防救助技術訓練大会（引揚救助）において 2 位となり、関東大会へ出場が決定する。
7 月 21 日	日本消防協会より救急車（日産キャラバン 2 B 型）が寄贈され本署に配置、 救急 2 号車を更新する。
7 月 30 日	資材運搬用トラック（マツダタイタン 2 t）を購入、本署に配置する。
9 月 13 日	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車（三菱 A－1 級）が寄贈され 浅羽分署に配置、袋井 8 号車を更新する。
昭和62年 3 月 16 日	本署庁舎一部増改築工事を行う。
4 月 1 日	職員 1 人採用により、職員数 85 人となる。
8 月 17 日	査察車（トヨタカローラV）を購入する。
昭和63年 4 月 1 日	本部職員 21 人（うち通信員 8 人）、本署職員 28 人、森分署職員 18 人、 浅羽分署職員 16 人となる。

5 月 10 日	森分署、浅羽分署救急車（トヨタ 2 B 型）を更新する。
8 月 31 日	職員 1 人退職により、82 人となる。
平成 元年 3 月 10 日	浅羽分署庁舎増改築工事（1,224 万円）が竣工される。
4 月 1 日	職員 1 人採用により、職員数 83 人となる。
10 月 14 日	森分署小型動力消防ポンプ付水槽車（ミツビシ シバウラ B-2 級搭載 7 t）を配置、 4 号車を更新する。
11 月 24 日	救急 1 号車（日産キャラバン 2 B 型）を更新する。
平成 2 年 4 月 1 日	職員 2 人増員、実数 85 人となる。
4 月 26 日	静岡県代表として、全国消防長会関東支部消防職員意見発表大会に出場する。
9 月 28 日	指令車（クラウン）を更新する。
10 月 29 日	浅羽分署消防ポンプ車（三菱 U-F E 337 B 森田ポンプ C D-1 型 動力ホースカー付）を更新する。
12 月 20 日	現場本部車（ハイエース）を更新する。
平成 3 年 4 月 1 日	職員 2 人採用、1 人市長部局へ、実数 86 人となる。
6 月 7 日	「袋井市外 2 町消防組合管内婦人防災隊連絡会」を設立する。
7 月 16 日	袋井 1 号車、小型動力消防ポンプ（B-2 級）を更新する。
10 月 14 日	気象観測装置を更新する。
12 月 24 日	職員定数条例改正、定数 96 人となる。
平成 4 年 2 月 20 日	マイクロバス（トヨタコースター 29 人乗り）を更新する。
3 月 16 日	救急波無線を整備する。
4 月 1 日	職員 2 人採用、実数 88 人となる。
9 月 17 日	小型動力ポンプ 4 台（ラビット C-1 型）を更新する。
10 月 1 日	袋井消防署救助訓練塔工事を起工する。
10 月 7 日	広報車（三菱パジェロ）を更新する。
11 月 2 日	森分署消防ポンプ車（三菱 U-F E 337 B 4 輪駆動 森田ポンプ C D-1 電動ホースカー付）を更新する。
11 月 7 日	袋井市田町婦人防災隊が静岡県知事褒章を受賞する。
12 月 13 日	消防創立 30 周年記念「東海道どまん中ファイヤーフェスティバル」を開催する。
12 月 21 日	職員定数条例改正、定数 105 人となる。
平成 5 年 2 月 26 日	袋井消防署救助訓練塔が完成する。

3 月 31 日	職員 1 人退職により、87 人となる。
4 月 1 日	職員 5 人採用、実数 92 人となる。
7 月 14 日	袋井消防署浅羽分署新庁舎建設工事を起工する。
9 月 1 日	森町ライオンズクラブより救急訓練用人形が寄贈される。
9 月 8 日	患者監視装置を導入する。
10 月 26 日	県高圧ガス、危険物防災訓練が袋井市（松本油脂）で開催される。
11 月 15 日	消防指令救急波接続装置を設置する。
11 月 24 日	非常用電源装置を設置する。
平成 6 年 3 月 1 日	磐田郡浅羽町浅名 1045 番地に浅羽分署新庁舎が落成し、移転する。
3 月 31 日	職員 2 人退職により、実数 90 人となる。
4 月 1 日	職員 6 人採用、実数 96 人となる。
	組織機構改革に伴い、課制（管理課、予防課）を導入する。
9 月 12 日	本署・森分署・浅羽分署に可搬ポンプ台車付（ラビット C－1）を配置する。
平成 7 年 3 月 24 日	袋井消防署に初の高規格救急車が導入され、救急袋井 2 号車（高規格救急車 日産パラメディック）を更新する。
	化学車（日野 U－GD 3 H G A A 畠山ポンプ A－2 級）を更新する。
3 月 31 日	職員 1 人退職により、実数 95 人となる。
4 月 1 日	職員 5 人採用、実数 100 人となる。
5 月 29 日	袋井 4 号車、小型動力ポンプ（ラビット B－2 級）を更新する。
11 月 24 日	30m 級はしご付消防ポンプ自動車（日野 K C－P R 4 F P D F 森田ポンプ A－2 級）購入、本署に配置する。
12 月 12 日	救助工作車（Ⅱ型 日野 K C－G D 1 J G B A 森田ポンプ）を更新する。
平成 8 年 3 月 31 日	職員 3 人退職により、実数 97 人となる。
4 月 1 日	職員 5 人採用、市長部局から 1 人、実数 103 人となる。
5 月 22 日	初の救急救命士が誕生する。
7 月 9 日	袋井 1 号車 小型動力ポンプ（ラビット B－2 級）を更新する。
7 月 26 日	査察車（61 号車 スズキ軽バン）を更新する。
11 月 26 日	救急森 1 号車、救急浅羽 1 号車ともに高規格救急自動車（トヨタハイメディック） に更新する。
平成 9 年 3 月 31 日	職員 1 人退職により、実数 102 人となる。

4 月 1 日	職員 3 人採用、実数 105 人となる。 消防緊急通信指令システム（NECⅡ型）を導入、運用開始する。
7 月 10 日	査察車（65 号車 トヨタカルディナバン）を更新する。
11 月 25 日	救急心電図伝送装置導入（袋井市民病院）運用開始する。
平成 10 年 3 月 10 日	消防ポンプ自動車（2 号車 三菱KC-FE538B 森田ポンプCD-1 型 電動ホースカー付）を更新する。 救急袋井 1 号車高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を更新する。
3 月 31 日	職員 3 人退職により、実数 102 人となる。
4 月 1 日	職員 2 人採用（内 1 人女性）、市長部局から 1 人、実数 105 人となる。
4 月 28 日	救急救命士（女性）が誕生する。
12 月 1 日	救急心電図受信装置（森町病院）運用開始する。
平成 11 年 3 月 31 日	職員 1 人退職により、実数 104 人となる。
4 月 1 日	職員 1 人採用、1 人市長部局へ、実数 104 人となる。
4 月 8 日	職員 1 人退職により、実数 103 人となる。
11 月 15 日	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンA-1 級）が 寄贈され、浅羽分署に配置、袋井 8 号車を更新する。
12 月 21 日	本部、本署庁舎の耐震補強工事が完成する。
平成 12 年 3 月 31 日	職員 1 人退職により、実数 102 人となる。
4 月 1 日	袋井市外 2 町消防組合、袋井地域環境厚生施設組合及び袋井市広域施設組合が 統合し、袋井市森町浅羽町広域行政組合が発足する。 職員 4 人採用、1 人(その他の職員)組合事務局へ、実数 105 人となる。
7 月 10 日	袋井 4 号車、小型動力ポンプ（ラビットB-2 級）を更新する。
7 月 31 日	磐田信用金庫創立 50 周年記念により、指令車（トヨタクラウン）1 台、 現場本部車（トヨタグランビア）1 台及び連絡車（トヨタエース）2 台寄贈され、 51 号車（指令車）、62 号車（現場本部車）、63・64 号車（森・浅羽分署連絡車）を更新する。
8 月 17 日	職員 1 人退職により、実数 104 人となる。
12 月 25 日	訓練塔塗装改修工事が完成する。
平成 13 年 3 月 1 日	職員 1 人を県消防防災航空隊へ派遣する。
3 月 31 日	職員 4 人退職により、実数 100 人となる。
4 月 1 日	職員 5 人採用、市長部局から 2 人、1 人（消防職員）組合事務局へ、実数 105 人となる。

7 月 26 日	(株)アクト・メイト創立 20 周年記念により、広報車（スズキエスクード）1 台寄贈され、73 号車（本部広報車）を更新する。
9 月 17 日	森分署移転新築工事に伴う起工式が行われる。
平成 14 年 3 月 20 日	浅羽分署ホースタワー塗装改修工事が完了する。
3 月 31 日	職員 1 人退職により、実数 104 人となる。
4 月 1 日	職員 1 人採用、実数 105 人となる。
8 月 28 日	周智郡森町森 48 番地の 2 に森分署新庁舎が落成し移転する。
10 月 1 日	消防本部、本署、森分署及び浅羽分署が管理市のグループウェアに接続され、全署所及び管理市との LAN によるネットワークが構築される。
10 月 24 日	職員定数条例改正、定数 109 人となる。
12 月 31 日	職員 1 人退職により、実数 104 人となる。
平成 15 年 1 月 31 日	袋井 1 号車（水槽付ポンプ車）を更新する。
3 月 31 日	職員 1 人退職により、実数 103 人となる。
4 月 1 日	職員 2 人採用、市長部局から 1 人、実数 106 人となる。
8 月 8 日	森分署庁舎ガラス飛散防止工事が完了する。
平成 16 年 3 月 31 日	職員 1 人退職により、実数 105 人となる。
4 月 1 日	職員 4 人採用、実数 109 人となる。 職員 1 人を県防災局緊急防災支援室へ派遣する。
7 月 30 日	袋井消防署ホースタワー・車庫底塗装工事が完了する。
12 月 31 日	職員 1 人退職により、実数 108 人になる。
平成 17 年 1 月 12 日	救急袋井 2 号車（高規格救急車）を更新、緊急消防援助隊へ登録する。
1 月 27 日	森分署 4 号車（水槽付ポンプ車）を更新する。
3 月 31 日	職員 4 人退職により、実数 104 人となる。
4 月 1 日	袋井市と浅羽町の合併により、袋井市森町浅羽町広域行政組合から、袋井市森町広域行政組合に名称変更する。 職員 3 人採用、市長部局から 2 人、実数 109 人となる。 職員 1 人を県消防学校へ教官として派遣する。
7 月 20 日	静岡県代表として、第 34 回消防救助技術関東地区指導会（ロープブリッジ渡過）に出場する。
11 月 1 日	職員定数条例改正、定数 119 人となる。
12 月 21 日	浅羽分署 6 号車（ポンプ車）を更新する。

平成 18 年 3 月 10 日	浅羽分署非常用発電機燃料タンク増設工事が完了する。
3 月 31 日	職員 2 人退職により、実数 107 人となる。
4 月 1 日	職員 3 人採用、市長部局から 1 人、実数 111 人となる。
7 月 22 日	袋井 61 号車（連絡車）を更新する。
9 月 30 日	職員 1 人退職により、実数 110 人になる。
平成 19 年 2 月 28 日	救急浅羽 1 号車（高規格救急車）を更新する。
3 月 31 日	職員 4 人退職により、実数 106 人となる。
4 月 1 日	職員 5 人採用、市長部局から 1 人、1 人市長部局へ、実数 111 人となる。
11 月 29 日	事務用連絡車（ヴィッツ）を購入する。
平成 20 年 2 月 28 日	救急森 1 号車（高規格救急車）を更新する。
3 月 31 日	職員 4 人退職により、実数 107 人となる。
4 月 1 日	職員 7 人採用、市長部局から 2 人、2 人市長部局へ、実数 114 人となる。
7 月 3 日	全国消防長会技術委員会を袋井市内にて開催する。
7 月 31 日	職員 1 人退職により、実数 113 人になる。
8 月 29 日	静岡県代表として、第 37 回全国消防救助技術大会（ロープブリッジ渡過）に出場する。
10 月 30 日	袋井 31 号車（はしご車）のオーバーホールを終了する。
12 月 12 日	査察車（65 号車 ホンダステップワゴン）を更新する。
12 月 31 日	職員 1 人退職により、実数 112 人になる。
平成 21 年 2 月 27 日	森分署袋井 5 号車（ポンプ車）を更新する。
3 月 31 日	職員 5 人退職により、実数 107 人となる。
4 月 1 日	職員 7 人採用、市長部局から 3 人、2 人市長部局へ、実数 115 人となる。
6 月 1 日	職員 1 人採用により、実数 116 人となる。
6 月 30 日	職員 1 人退職により、実数 115 人となる。
8 月 20 日	静岡県代表として、第 38 回全国消防救助技術大会（ロープブリッジ渡過）に出場する。
11 月 30 日	職員 1 人退職により、実数 114 人となる。
12 月 31 日	職員 1 人退職により、実数 113 人となる。
平成 22 年 2 月 24 日	救急袋井 1 号車（高規格救急車）を更新する。
3 月 1 日	職員 1 人を県消防防災航空隊へ派遣する。
3 月 31 日	職員 5 人退職により、実数 108 人となる。
4 月 1 日	職員 6 人採用、市長部局から 3 人、1 人市長部局へ、実数 116 人となる。

8 月 10 日	中東遠地域消防指令業務共同運用推進協議会設立
平成 23 年 3 月 11 日	東日本大震災に緊急消防援助隊静岡県隊として救急隊・後方支援隊 40 名を派遣 (期間 平成 23 年 3 月 11 日～平成 23 年 4 月 1 日)
3 月 31 日	職員 10 人退職により、実数 106 人となる。
4 月 1 日	職員 7 人採用、市長部局から 2 人、1 人市長部局へ、実数 114 人となる。
平成 24 年 3 月 31 日	職員 8 人退職により、実数 106 人となる。
4 月 1 日	職員 6 人採用、市長部局から 2 人、2 人市長部局へ、実数 112 人となる。 森分署 2 名増員し、23 人となる。 中東遠地域 5 消防本部消防通信指令事務協議会設立 中東遠地区 5 消防本部（袋井市森町広域行政組合袋井消防本部、御前崎市消防本部、 菊川市消防本部、掛川市消防本部、磐田市消防本部）にて中東遠消防指令センター の運用を開始し、職員 6 人を派遣する。 中東遠消防指令センターの運用開始に伴い、警防課通信指令室を廃止する。
4 月 14 日	新東名高速道路が開通する。
8 月 7 日	静岡県代表として、第 41 回全国消防救助技術大会（はしご登はん）に出場する。
平成 25 年 2 月 25 日	全国共済農業協同組合連合会静岡県支部、遠州中央農業協同組合より 高規格救急車 1 台寄贈され、救急袋井 3 号車を更新する。
3 月 1 日	袋井 7 号車（化学車）、41 号車（救助工作車）を更新する。
3 月 31 日	職員 5 人退職により、実数 106 人となる。
4 月 1 日	職員定数条例改正、定数 123 人となる。 職員 9 人採用、市長部局から 1 人、1 人市長部局へ、実数 116 人となる。 職員 1 人を県消防学校へ教官として派遣する。
5 月 31 日	袋井消防署山梨分遣所新築工事に伴う起工式が行われる。
6 月 1 日	職員 1 人を、緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練静岡県実行委員会事務局員として派遣する。
10 月 30 日	静岡県高圧ガス危険物防災訓練が袋井浄化センターで開催される。
11 月 26 日	静岡県西部地区消防長会大規模災害訓練をエコパにて開催する。
平成 26 年 2 月 21 日	袋井 2 号車（ポンプ車）を更新する。
3 月 28 日	袋井消防署山梨分遣所落成式が行われる。
3 月 29 日	新東名高速道路遠州森町スマートインターチェンジが開通する。
3 月 31 日	職員 2 人退職により、実数 114 人となる。

4 月 1 日	職員 9 人採用、市長部局から 1 人、1 人市長部局へ、育児休業 1 人、実数 122 人となる。 袋井市上山梨三丁目 27-4 に袋井消防署山梨分遣所を開署、職員 10 人を配置、 水槽付ポンプ自動車 1 台、高規格救急自動車 1 台を配備する。
7 月 31 日	静岡県代表として、第 43 回消防救助技術関東地区指導会（ロープブリッジ救出）に出場する。
10 月 25 日	袋井市メロープラザにて静岡県防火のつどいが開催される。
11 月 5 ～ 6 日	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が静岡県西部地区で開催される。 袋井消防本部では図上訓練を実施する。
11 月 7 日	市より指揮車が無償譲渡され、袋井 52 号車（指揮支援車）として運用開始する。
平成 27 年 2 月 25 日	袋井 3 号車（水槽付きポンプ車）を更新する。
2 月 26 日	救急袋井 2 号車（高規格救急車）を更新する。
3 月 31 日	職員 3 人退職により、実数 119 人となる。
4 月 1 日	職員 4 人採用、市長部局から 1 人、1 人市長部局へ、育児休業 1 人、実数 123 人となる。
7 月 17 日	静岡県代表として、第 44 回消防救助技術関東地区指導会（ロープブリッジ救出）に出場する。
平成 28 年 2 月 18 日	袋井 8 号車（水槽付きポンプ車）を更新する。
2 月 23 日	袋井 62 号車（指揮車）を更新する。
3 月 30 日	東名高速道路小笠パーキングエリア上下線に緊急開口部を設置（掛川市）
3 月 31 日	職員 4 人退職により、実数 119 人となる。
4 月 1 日	職員 4 人採用、市長部局から 2 人、2 人市長部局へ、育児休業 1 人、実数 123 人となる。 消防救急デジタル無線正式運用開始
7 月 31 日	職員 1 人退職により、実数 122 人となる。
10 月 30 日	職員 1 人退職（育児休業定数外）
11 月 30 日	袋井 63 号車（連絡車）を更新する。
平成 29 年 2 月 27 日	救急浅羽 1 号車（高規格救急車）を更新する。
3 月 8 日	袋井市森町広域行政組合袋井消防本部、袋井市消防団が平成 28 年度消防功労者 消防庁長官表彰竿頭授受章
4 月 1 日	職員定数条例改正、定数 130 人となる。 職員 1 人採用、市長部局から 2 人、2 人市長部局へ、実数 123 人となる。
12 月 31 日	職員 1 人退職により、実数 122 人となる。
平成 30 年 1 月 31 日	袋井 66 号車（支援車）を更新、緊急消防援助隊へ登録する。
2 月 16 日	袋井 64 号車（連絡車）を更新する。

3 月 31 日	職員 3 人退職により、実数 119 人となる。
4 月 1 日	職員 4 人採用、市長部局から 3 人、2 人市長部局へ、実数 124 人となる。
7 月 1 日	救急ボイストラ使用開始
7 月 5 日	袋井消防庁舎・袋井市防災センター建築に伴う起工式が行われる。
11 月 1 日	袋井 31 号車（小型はしご付きポンプ車）を更新する。
12 月 31 日	職員 1 人退職により、実数 123 人となる。
平成 31 年 3 月 1 日	職員 1 人を県消防防災航空隊へ派遣する。
3 月 31 日	職員 3 人退職により、実数 120 人となる。
4 月 1 日	職員 4 人採用、市長部局から 4 人、市長部局への出向 1 人、派遣 2 人、実数 124 人となる。
令和 元年 12 月 9 日	袋井 51 号車（指令車）を更新する。
令和 2 年 1 月 8 日	袋井消防庁舎・袋井市防災センターが竣工する。
1 月 30 日	救急森 1 号車（高規格救急車）を更新する。
2 月 19 日	袋井消防庁舎・袋井市防災センターの落成式が行われる。
2 月 22～23 日	袋井消防庁舎・袋井市防災センターの内覧会が行われる。
3 月 16 日	袋井消防庁舎・袋井市防災センターの仮運用を開始する。
4 月 1 日	職員 4 人採用、市長部局から 2 人、4 人市長部局へ、実数 126 人となる。
	袋井市国本 2907 番地に袋井消防庁舎・袋井市防災センターを開署する。
	袋井消防本部エンブレムが変更となる。
8 月 1 日	リモート会議（WEB 端末導入）整備
12 月 9 日	袋井消防本部（公式）SNS 開設
令和 3 年 2 月 8 日	アクションプラン 2025 策定
3 月 1 日	救急袋井 1 号車（高規格救急車）を更新する。
4 月 1 日	職員 3 人採用、市長部局から 2 人、2 人市長部局へ、実数 129 人となる。
	袋井消防本部設立 50 周年
7 月 3 日	静岡県消防相互応援協定に基づき熱海市土砂災害へ救急隊・消火隊・後方支援隊 44 名を派遣
令和 4 年 1 月 25 日	浅羽分署中規模改修工事が終了する。
1 月 28 日	袋井市建設事業協同組合と消防訓練場所の確保の協力に関する協定を締結する。
3 月 25 日	袋井 52 号車（指揮支援車）を更新する。
	袋井 73 号車（広報車）を更新する。
	袋井 74 号車（資機材搬送車）を更新する。

4 月 1 日	職員定数条例改正、定数 148 人となる。
	職員 1 人採用、市長部局から 2 人、2 人市長部局へ、実数 130 人となる。
7 月 13 日	移動知事室により静岡県知事が来署する。
7 月 15 日	静岡県代表として、第 50 回消防救助技術関東地区指導会（ロープブリッジ救出）に出場する。
11 月	消防専門誌に袋井消防独自の取り組み「袋井スタイル」が連載される。
令和 5 年 2 月 25 日	袋井 6 号車（ポンプ車）を更新する。
2 月 28 日	森分署中規模改修工事が終了する。
3 月 2 日	事務連絡車（アクア）を更新する。
4 月 1 日	職員 4 人採用、市長部局から 2 人、2 人市長部局へ、実数 134 人となる。
7 月 27 日	静岡県代表として、第 51 回消防救助技術関東地区指導会（ロープブリッジ救出）に出動
11 月 21 日	救急山梨 1 号車（高規格救急車）を更新する。電動ストレッチャーを導入する。
令和 6 年 1 月 1 日	能登半島地震に緊急消防援助隊静岡県隊として救急隊・後方支援隊 48 名を派遣
3 月 31 日	職員 1 人退職により、実数 133 人となる。
4 月 1 日	職員 4 人採用、市長部局から 1 人、1 人市長部局へ、実数 137 人となる。

概

況

広域行政組合の概況

袋井市森町広域行政組合は、袋井市、森町で構成され、消防（消防団に係るもの並びに水利施設の設置、維持及び管理に係るものを除く。）、し尿処理施設、ごみ処理施設及び火葬施設に関する事務を共同で行う一部事務組合です。

管内は、南に太平洋、北は赤石山脈に連なる山地の裾野に面し、南北 34.0 km、東西 6.8 km と南北に非常に長い地形を有し、総面積 242.24 km² で、南に平地、北に山地と変化に富んだ美しい自然環境に恵まれています。

また、管内には東名高速道路、新東名高速道路、国道 1 号、J R 東海道線、東海道新幹線及び天竜浜名湖鉄道と多くの主要幹線が横断し、東西交通の要所となっています。

管内人口は約 10 万 6 千人となっています。

1 袋井市森町広域行政組合管内情勢

(1) 組合の概況

- ・構成市町 袋井市、森町
- ・袋井市外2町消防組合設立年月日 昭和46年4月1日
本部設立年月日 昭和46年4月1日（袋井市消防本部 昭和38年4月1日）
業務開始年月日 昭和46年4月1日（分署業務開始 昭和47年4月1日）
- ・袋井市森町浅羽町広域行政組合設立年月日 平成12年4月1日
- ・旧袋井市と旧浅羽町の合併により袋井市森町広域行政組合に名称変更 平成17年4月1日

本部・署所在地

袋井消防本部	袋井市国本2907番地
袋井消防署	袋井市国本2907番地
袋井消防署浅羽分署	袋井市浅名1045番地
袋井消防署山梨分遣所	袋井市上山梨三丁目27番地の4
袋井消防署森分署	周智郡森町森48番地の2

消防団所在地

袋井市消防団	袋井市国本2907番地
森町消防団	周智郡森町森2101番地の1

(2) 面積、人口及び世帯数

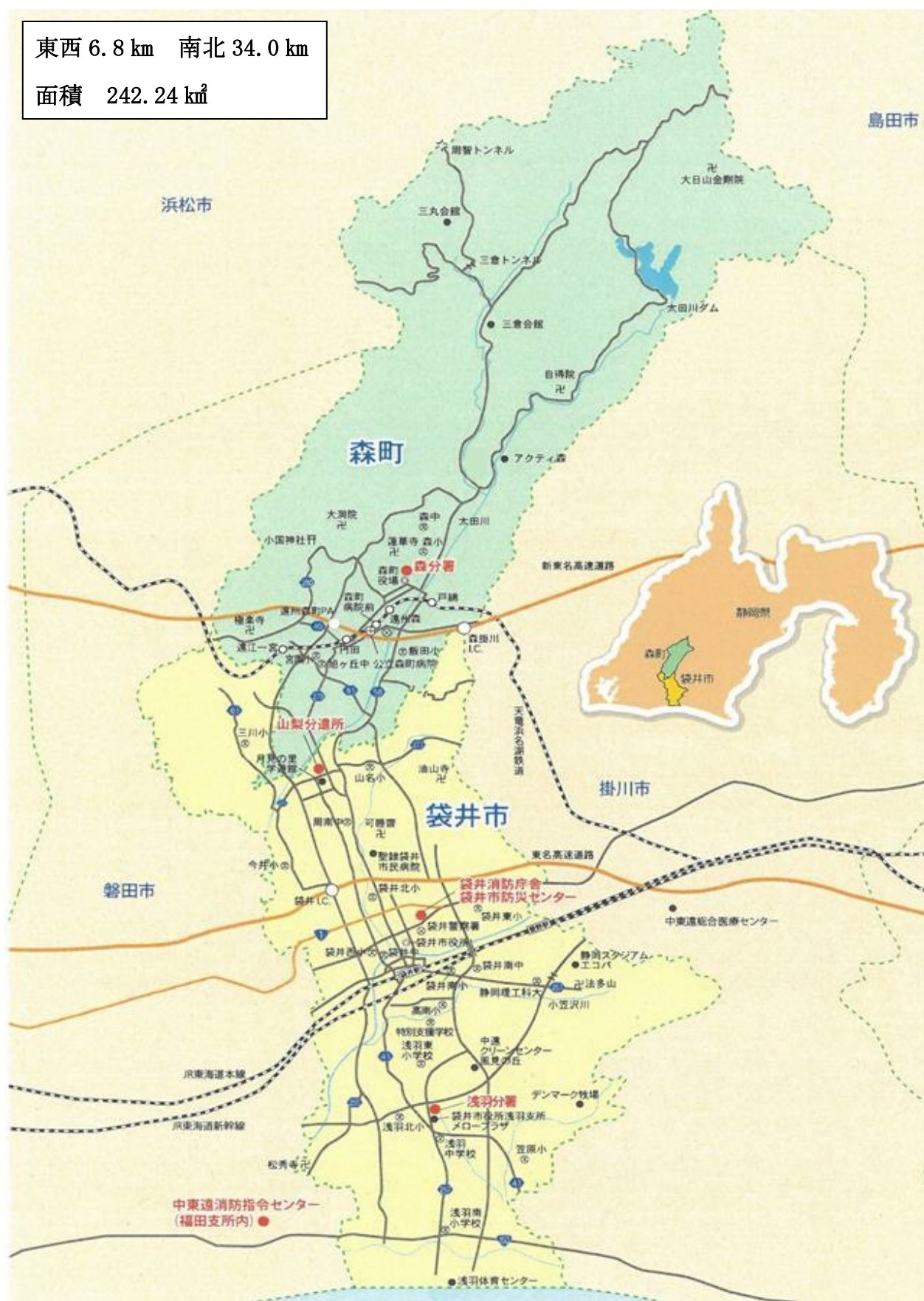
(令和6年4月1日現在)

項目 市町別	面積 (k m ²)	人口 (人)	世帯数 (戸)
袋井市	108.33	88,047	36,913
森町	133.91	17,143	6,713
計	242.24	105,910	43,626

(3) 管内図

東西 6.8 km 南北 34.0 km

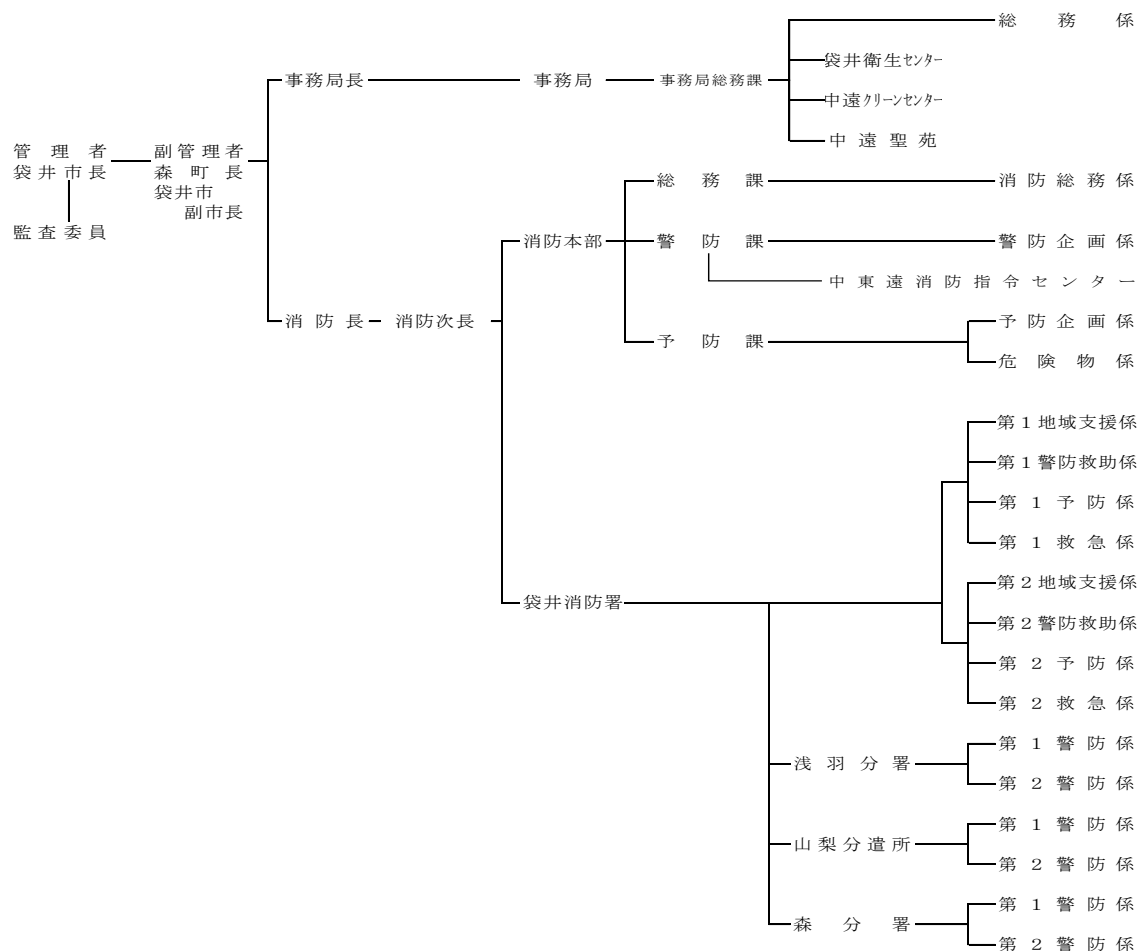
面積 242.24 km²



2 消 防 の 組 織

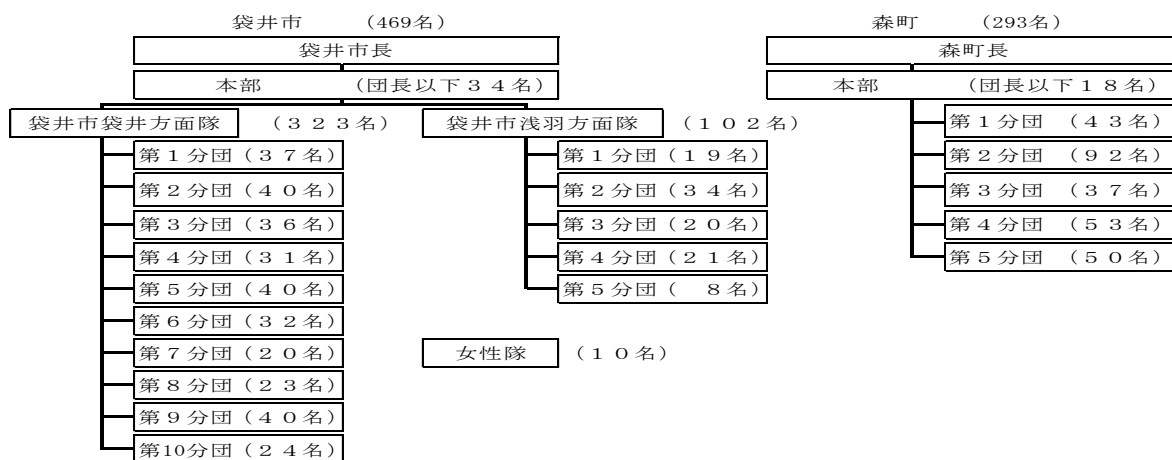
(1) 消防本部・署

(令和6年4月1日現在)



(2) 消 防 団

(令和6年4月1日現在)



3 消防本部・署の分掌事務

総務課

消防総務係

- (1) 消防の組織に関すること。
- (2) 消防の儀式及び会議に関すること。
- (3) 消防の企画に関すること。
- (4) 公印に関すること。
- (5) 消防の予算及び決算に関すること。
- (6) 消防に係る例規に関すること。
- (7) 消防に係る文書の収受、発送及び保管に関すること。
- (8) 消防職員の人事及び給与に関すること。
- (9) 消防職員の服務に関すること。
- (10) 消防職員の研修及び福利厚生に関すること。
- (11) 消防職員の衛生管理に関すること。
- (12) 消防職員の公務災害補償及び賞じゅつ金に関すること。
- (13) 消防の財産の取得、管理及び処分に関すること。
- (14) 消防の各種委員会に関すること。
- (15) 消防広域化に関すること。
- (16) 消防施設整備に関すること。
- (17) 消防に係る他の所管に属さないこと。

警防課

警防企画係

- (1) 消防力の配備及び消防計画に関すること。
- (2) 水火災その他の災害の警戒及び防ぎよ並びに災害等による傷病者の搬送についての総括に関すること。
- (3) 消防団その他防災関係機関との連絡調整に関すること。
- (4) 消防水利に関すること。
- (5) 消防技術の研究及び訓練の総括に関すること。

- (6) 消防車両及び機器の整備並びに管理に関すること。
- (7) 救急業務及び救助業務の企画運営に関すること。
- (8) 救急業務に係る医療機関との連絡調整に関すること。
- (9) 消防統計に関すること。
- (10) 消防通信の運用並びに通信施設等の整備及び維持管理に関すること。
- (11) 各種災害情報の収集及び伝達に関すること。
- (12) 気象情報に関すること。
- (13) 同報無線に関すること。
- (14) 中東遠地域 5 消防本部消防通信指令事務協議会に関すること。
- (15) 大規模イベントの警戒に関すること。
- (16) 緊急消防援助隊、消防相互応援等に関すること。
- (17) その他警防に関すること。

予防課

予防企画係

- (1) 建築許可等についての同意及び指導に関すること。
- (2) 防火管理者に関すること。
- (3) 消防用設備等の指導及び検査に関すること。
- (4) 予防査察に関すること。
- (5) 火気使用設備等の指導に関すること。
- (6) 防火協力団体の指導育成に関すること。
- (7) 袋井市森町広域行政組合火災予防条例（昭和 46 年袋井市外 2 町消防組合条例第 21 号）に規定する届出に関すること。
- (8) 火災予防思想の高揚及び火災予防の広報の総括に関すること。
- (9) 火災原因及び損害の調査に関すること。
- (10) 火災証明に関すること。
- (11) 火災統計に関すること。
- (12) 住宅及び高齢者等の防火指導に関すること。
- (13) 地震対策指導に関すること。
- (14) その他火災予防に関すること。

危険物係

- (1) 危険物製造所等についての許可、認可、検査、指導及び取締りに関すること。
- (2) 危険物施設等の立入検査等に関すること。
- (3) 指定数量未満の危険物、指定可燃物等の検査、指導等に関すること。
- (4) 危険物取扱者に関すること。
- (5) 煙火消費の許可等に関すること。
- (6) 高圧ガス等の指導に関すること。
- (7) 保安管理協会に関すること。
- (8) その他危険物の指導及び取締りに関すること。

消防署

第1 地域支援係・第2 地域支援係

- (1) 指揮隊及び情報管理室に関すること。
- (2) 消防団その他の団体等との連絡共助及び訓練指導に関すること。
- (3) 災害その他の情報の収集、連絡及び広報に関すること。
- (4) 職員の安全管理に関すること。
- (5) 消防署の施設運用に関すること。
- (6) 公印に関すること。
- (7) 消防署及び分署並びに分遣所間の連絡調整に関すること。
- (8) 消防署の庶務及び他の所管に属さないこと。

第1 警防救助係・第2 警防救助係

- (1) 消防地理及び水利に関すること。
- (2) 警防計画に関すること。
- (3) 消防車両及び機器の整備並びに管理に関すること。
- (4) 警防隊員の研修及び訓練に関すること。
- (5) 文書の収受並びに物品の出納及び管理に関すること。
- (6) 消防統計に関すること。
- (7) 特別救助隊に関すること。
- (8) 同報無線に関すること。

- (9) その他警防及び救助に関すること。

第1 予防係・第2 予防係

- (1) 予防査察に関すること。
- (2) 火気使用設備等の指導に関すること。
- (3) 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (4) 火災予防思想の高揚及び消防広報に関すること。
- (5) 防火指導及び防火等の相談に関すること。
- (6) 袋井市森町広域行政組合火災予防条例（昭和46年袋井市外2町消防組合条例第21号）に規定する届出に関すること。
- (7) 煙火の消費場所への調査指導に関すること。
- (8) その他予防に関すること。

第1 救急係・第2 救急係

- (1) 救急業務に関すること。
- (2) 救急統計に関すること。
- (3) 救急隊員の研修及び訓練に関すること。
- (4) 応急手当の普及啓発に関すること。
- (5) その他救急に関すること。

分署・分遣所

第1 警防係・第2 警防係

- (1) 警防計画に関すること。
- (2) 消防車両及び機器の整備並びに管理に関すること。
- (3) 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (4) 消防地理及び水利に関すること。
- (5) 袋井市森町広域行政組合火災予防条例に規定する届出に関すること。
- (6) 予防査察に関すること。
- (7) 火災予防思想の高揚及び消防広報に関すること。
- (8) 訓練指導に関すること。

- (9) 火気使用設備等の指導に関すること。
- (10) 煙火の消費場所への調査指導に関すること。
- (11) 警防隊員及び救急隊員の研修及び訓練に関すること。
- (12) 文書の収受並びに物品の出納及び管理に関すること。
- (13) 消防団との連絡共助に関すること。
- (14) その他分署及び分遣所に関すること。

4 歴代消防長

区分	歴順	所 属 役 職 名 等	氏 名	在 職 期 間
消 防 長	初 代	(袋井市助役兼任)	平出 孝一	昭和 38. 04. 01～昭和 39. 11. 30
	2 代	〃	鈴木 信平	昭和 40. 01. 01～昭和 43. 12. 31
	3 代	〃	湖東 二郎	昭和 44. 01. 01～昭和 51. 08. 21
	4 代	〃	右崎 勝彦	昭和 52. 01. 01～昭和 58. 02. 28
	5 代	〃	村松 忍	昭和 58. 04. 01～昭和 63. 03. 31
	6 代	〃	高田 吉郎	昭和 63. 12. 01～平成元. 03. 31
	7 代	(以下専任消防長)	久野 松義	平成元. 04. 01～平成 03. 03. 31
	8 代	〃	井口 育夫	平成 03. 04. 01～平成 06. 03. 31
	9 代	〃	鈴木 弘	平成 06. 04. 01～平成 08. 03. 31
	10 代	〃	鈴木 利保	平成 08. 04. 01～平成 10. 03. 31
	11 代	〃	土屋 清	平成 10. 04. 01～平成 12. 03. 31
	12 代	〃	寺井 雄二	平成 12. 04. 01～平成 13. 03. 31
	13 代	〃	榛葉 雅明	平成 13. 04. 01～平成 15. 03. 31
	14 代	〃	兼子 春治	平成 15. 04. 01～平成 16. 12. 31
	15 代	〃	山田 英二	平成 17. 04. 01～平成 19. 03. 31
	16 代	〃	永田 進	平成 19. 04. 01～平成 21. 03. 31
	17 代	〃	鈴木 英二	平成 21. 04. 01～平成 22. 03. 31
	18 代	〃	名倉 正一	平成 22. 04. 01～平成 23. 03. 31
	19 代	〃	山本 喜久次	平成 23. 04. 01～平成 24. 03. 31
	20 代	〃	戸塚 哲夫	平成 24. 04. 01～平成 25. 02. 28
	21 代	〃	山本 季男	平成 25. 04. 01～平成 28. 03. 31
	22 代	〃	牧野 敏男	平成 28. 04. 01～平成 30. 03. 31
	23 代	〃	土屋 修次	平成 30. 04. 01～平成 31. 03. 31
	24 代	〃	磯部 剛	平成 31. 04. 01～令和 04. 03. 31
	25 代	〃	神谷 正祐	令和 04. 04. 01～令和 05. 03. 31
	26 代	〃	河原崎 範彦	令和 05. 04. 01～

5 消防庁舎の配置と概要

消防本部・署



袋井市国本 2907 番地 TEL (0538) 42-0119 FAX (0538) 43-5113
敷地面積 8,196.42 m² (竣工年月 令和2年1月)

本庁舎棟延面積 5,296.07 m²

[鉄筋コンクリート造(免震構造)]

1階	1,209.93 m ²
中2階	633.10 m ²
2階	1,225.00 m ²
3階	1,225.00 m ²
4階	947.1100 m ²
R階	55.93 m ²

車庫備蓄倉庫棟延面積 295.38 m²

[鉄骨造]

1階	295.38 m ²
----	-----------------------

総合訓練塔延面積 324.00 m²

[鉄筋コンクリート造]

1階	108.00 m ²
2階	72.00 m ²
3階	72.00 m ²
4階	72.00 m ²

消防訓練塔延面積 192.00 m²

[鉄筋コンクリート造]

1階	48.00 m ²
2階	48.00 m ²
3階	48.00 m ²
4階	48.00 m ²

浅羽分署

袋井市浅名 1045 番地

TEL (0538) 23-0119

FAX (0538) 23-3222

敷地面積 1,550.00 m²

庁舎延面積 734.52 m²

[鉄骨造]

1階 475.20 m²

2階 259.32 m²

(竣工年月 平成6年3月)



山梨分遣所

袋井市上山梨三丁目 27 番地の 4

TEL (0538) 49-3119

FAX (0538) 49-3122

敷地面積 1,201.88 m²

庁舎延面積 509.25 m²

[鉄骨造]

1階 509.25 m²

(竣工年月 平成26年3月)



森分署

周智郡森町森 48 番地の 2

TEL (0538) 85-0119

FAX (0538) 85-3950

敷地面積 2,386.11 m²

庁舎延面積 952.34 m²

[鉄筋コンクリート一部鉄骨造]

1階 646.68 m²

2階 305.66 m²

(竣工年月 平成14年8月)



6 消防相互応援協定の締結状況

[締結年月日順]

名 称	締 結 市 町 村	締 結 年 月 日
静岡県消防相互応援協定	静岡県内全市町村	昭和 62 年 3 月 2 日
隣接市町村消防相互応援協定	磐田市	平成 13 年 3 月 28 日
隣接市町村消防相互応援協定	掛川市	平成 14 年 8 月 28 日
静岡県西部地区内高速道路における 消防相互応援協定	菊川市、掛川市、磐田市 浜松市	平成 17 年 7 月 1 日
静岡県西部地区内新東名高速道路における 消防相互応援協定	浜松市、磐田市、掛川市	平成 24 年 3 月 29 日
新東名高速道路内の島田金谷・森掛川 インターチェンジ間における消防相互応援協定	島田市、掛川市	平成 28 年 4 月 1 日

7 その他応援協定の締結状況

[締結年月日順]

名 称	締 結 機 関	締 結 年 月 日
ガス事故発生時における 応援対策に関する協定	袋井ガス(株)他 10 事業所	昭和 56 年 3 月 31 日
消防訓練場所の確保の協力に関する協定	袋井市建設事業協同組合	令和 4 年 1 月 28 日

8 表彰

[表彰年月日順]

内 容	表 彰 者	表 彰 年 月 日
表彰旗（袋井市消防団と連名）	消防庁長官	昭和 52 年 3 月 4 日
2002 年ワールドカップサッカー消防救急体制	消防庁長官	平成 14 年 8 月 21 日
東日本大震災緊急消防援助隊出動	全国消防長会	平成 23 年 10 月 26 日
	総務大臣	平成 23 年 11 月 9 日
竿頭綬（袋井市消防団と連名）	消防庁長官	平成 29 年 3 月 8 日
2019 年ラグビーワールドカップ消防救急体制	消防庁長官	令和 2 年 2 月 10 日
能登半島地震緊急消防援助隊出動	消防庁長官	令和 6 年 5 月 23 日

総

務

総務の概況

消防本部は、1本部（3課）・1署・2分署・1分遣所、職員137人で組織し、安全な地域社会の実現と住民の生命財産を守るため消防業務に取り組んでいます。

また、社会情勢の進展に的確に対応するため、消防大学校、静岡県消防学校、救急救命士養成所、各種研修の実施、資格の取得等への派遣を積極的に行い、職員の資質の向上に努めています。

令和6年度の行政組合における当初予算は3,827,000千円で、そのうち消防に係る当初予算は、消防費1,793,455千円、公債費184,735千円、予備費2,500千円の1,980,690千円です。

消防・行政・消防団の連携強化を図り、高まる防災意識や複雑多様化する災害へ迅速・的確に対応するため、消防庁舎と市防災センターを合同庁舎として整備し、令和2年4月から運用を開始しました。

1 職員の状況

(1) 消防職員配置状況・階級別消防職員数の状況

(令和6年4月1日現在)

区 分		消 防 吏 員							事 務 職 員	合 計
		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士		
消 防 本 部	消 防 長	1								1
	消 防 次 長		1							1
	総務課	課 長	1							1
		主 幹		1						1
		消 防 総 務 係		(1)	2	① 2			① 1	(1)② 5
	警防課	課 長	1							1
		主 幹		1						1
		警 防 企 画 係		(1)	2	1				(1) 3
		指 令 セ ン タ ー		1		① 3	1			① 5
	予防課	課 長	1							1
		課 長 補 佐		1						1
		予 防 企 画 係			2	2				4
		危 険 物 係		(1)	1	1				(1) 2
	小 計	1	4	(3) 4	7	② 9	1		① 1	(3)③ 27
消 防 署	消 防 署 長		(1)							(1)
	副 署 長			2						2
	本 署	課 長 補 佐		1						1
		主 幹		8						8
		第 1 地 域 支 援 係		(1)	2		1			(1) 3
		第 2 地 域 支 援 係		(1)	① 1	2		1		(1)① 4
		第 1 警 防 救 助 係		(1)	1	2	2	1		(1) 6
		第 2 警 防 救 助 係		(1)		5	1	1		(1) 7
		第 1 予 防 係		(1)	1	① 3	2	1		(1)① 7
		第 2 予 防 係		(1)	1	3	1	2		(1) 7
		第 1 救 急 係			1	4		1		6
		第 2 救 急 係		(1)	1	3		① 1		(1)① 5
	浅羽分署	分 署 長		1						1
		主 幹		2						2
		第 1 警 防 係		(1)	1	2	3	3		(1) 9
		第 2 警 防 係		(1)	3	1	3	2		(1) 9
	山梨分遣所	分 遣 所 長		(1)						(1)
		主 幹		1						1
		第 1 警 防 係		1	1	1	1	1		5
		第 2 警 防 係		(1)	2	1	1			(1) 4
	森分署	分 署 長		1						1
		主 幹		2						2
		第 1 警 防 係		(1) 1	1	4	1	3		(1) 10
		第 2 警 防 係		(1)	2	4	2	2		(1) 10
	小 計		(1)	(13) 20	① 18	① 35	18	① 19		(14)③ 110
合 計		1	(1) 4	(16) 24	① 25	③ 44	19	① 19	① 1	(17)⑥ 137

() 内は兼務、○数字は女性職員(うち数)

(2) 職員の階級別年齢状況

(令和6年4月1日現在)

階級 年齢	消 防 監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	事 務 職 員	合 計
総 数	1	4	24	25	44	19	19	1	137
平均年齢	59.0	53.5	49.7	43.2	35.6	27.9	22.7	51.0	42.8
20 歳 未 満							1		1
20 歳 ～ 24 歳							13		13
25 歳 ～ 29 歳						18	5		23
30 歳 ～ 34 歳					20	1			21
35 歳 ～ 39 歳				3	22				25
40 歳 ～ 44 歳				10	1				11
45 歳 ～ 49 歳			14	12					26
50 歳 ～ 54 歳		3	8					1	12
55 歳 ～ 59 歳	1	1	2						4
60 歳 ～					1				1

(3) 職員の勤続年数状況

(令和6年4月1日現在)

階級 勤続年数	消 防 監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	事 務 職 員	合 計
総 数	1	4	24	25	44	19	19	1	137
平均勤続年数	37.0	32.8	29.5	22.7	14.4	8.2	2.6	31	22.3
5 年 未 満						2	14		16
5 年 ～ 9 年					1	10	5		16
10 年 ～ 14 年					27	7			34
15 年 ～ 19 年				6	13				19
20 年 ～ 24 年			4	10	2				16
25 年 ～ 29 年			7	9					16
30 年 ～ 34 年		3	12					1	16
35 年 ～ 39 年	1	1	1						3
40 年 以 上					1				1

(4) 職員教育実施状況

(単位：人)

区分		年度					平成					令和				
		26	27	28	29	30	元	2	3	4	5					
消防大学校	新任消防長・学校長科						1			1						
	幹部科			1	1					1	1					
	救助科															
	危険物科															
	火災調査科															
	警防科	1							1							
	予防科		1													
	緊急消防援助隊教育科NBCコース			1	1											
静岡県消防大学校	初任科	9	4	4	1	4	4	4	3	1	4					
	初級幹部科					1	1	1	1	1	1					
	中級幹部科		1	1	1	1	1	1	1	1	1					
	上級幹部科		1						1	1	1					
	警防科	1	1	1	1	1	1	1	1	3	2					
	火災調査科	1	1	1	2	2	2	2	2	3	2					
	予防査察・危険物科			1	2	2	2	2	2	3	3					
	救急科	3	6	6	6	3	4	4	5	4	3					
	救助科	1	2	1	2	2	3	3	2	2	3					
	水難救助科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					
	女性消防吏員講習					1	1	1								
	実践的大規模災害対応講習					1	1	1	1	1	1					
	潜水士試験対策講習	1	1													
	ビデオ喉頭鏡講習	2	8	5	6	1	1			1						
	処置拡大追加講習		5	4	3	3	3	4								
	ホットトレーニング講習									6	6					
その他の	救急救命士養成所研修			1	1	1		1		1						
	指導救命士養成研修						1				1					
	市町村職員広域研修							8	19	23	12					
	特別管理産業廃棄物管理責任者講習	1		2	2	1	1	1								
	安全衛生推進者養成講習							2	2	2	2					
	小型移動式クレーン運転技能講習	1	1	2	2	1	1	1			2					
	玉掛け技能講習	1	1	2	2	1	2		1		2					
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	2	2	2	1						2					
	潜水士国家試験	1	1	2												
	予防技術検定試験	3	3	3	3											
	危険物取扱者保安講習						3	4	3	3	3					
合 計（延べ人数）		30	41	42	39	28	34	42	46	59	53					

2 組 合 予 算 の 状 況

令和 6 年 4 月 1 日現在

(1) 袋井市森町広域行政組合予算総括

(単位：千円、%)

令和 6 年度当初予算額	令和 5 年度当初予算額	前 年 度 対 比	
		増 減 額	伸 び 率
3,827,000	3,386,000	441,000	13.0

(2) 歳入予算の内訳（当初予算）

(単位：千円、%)

区 分	令和 6 年度当初予算		令和 5 年度当初予算		前年度対比	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	伸び率
1 分担金及び負担金	3,093,652	80.8	3,042,517	89.8	51,135	1.7
2 使用料及び手数料	196,940	5.1	217,585	6.4	△20,645	△9.5
3 国 庫 支 出 金	3,200	0.1	0.0	0.0	3,200	0
4 県 支 出 金	30,178	0.8	9,052	0.3	21,126	233.4
5 財 産 収 入	6	0.0	965	0.0	△959	△99.4
6 繰 入 金	76,515	2.0	12,310	0.4	64,205	521.6
7 繰 越 金	11,327	0.3	11,480	0.3	△153	△1.3
8 諸 収 入	13,982	0.4	15,491	0.5	△1,509	△9.7
9 組 合 債	401,200	10.5	76,600	2.3	324,600	423.8
歳 入 合 計	3,827,000	100.0	3,386,000	100.0	441,000	13.0

(3) 歳出予算の内訳（当初予算）

（単位：千円、％）

区 分	令和 6 年度当初予算		令和 5 年度当初予算		前年度対比	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	伸び率
1 議 会 費	461	0.0	461	0.0	0	0.0
2 総 務 費	41,282	1.1	38,636	1.1	2,646	6.8
3 衛 生 費	1,651,778	43.1	1,646,293	48.6	5,485	0.3
4 消 防 費	1,793,455	46.9	1,328,871	39.3	464,584	35.0
5 公 債 費	330,024	8.6	361,739	10.7	△31,715	△8.8
6 予 備 費	10,000	0.3	10,000	0.3	0	0.0
歳 出 合 計	3,827,000	100.0	3,386,000	100.0	441,000	13.0

(4) 一般会計と消防予算（当初予算）

（単位：千円、％）

区分 市町別	A 一般会計	B 消防費	比較 B —×100 A	C 常備消防費	比較 C —×100 B	非 常 備 消防費等
袋 井 市	39,830,000	1,802,856	4.5	1,157,689	64.2	645,167
森 町	9,713,000	460,893	4.7	337,884	73.3	123,009
合 計	49,543,000	2,263,749	4.6	1,495,573	66.1	768,176

(5) 消防費分担金の5か年の推移（当初予算）

（単位：千円）

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
袋 井 市	986,885	1,028,652	1,052,042	1,089,354	1,140,198
森 町	287,996	299,877	293,969	315,901	333,117
合 計	1,274,881	1,328,652	1,346,011	1,405,255	1,473,315

予

防

予 防 の 概 況

令和 5 年 8 月 20 日に神奈川県厚木市では、駐車場約 4,000 m²に加え、車両 152 台を焼損する駐車場火災が発生しました。令和 6 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震では、倒壊家屋や津波などにより多数の人的・物的被害が生じ、石川県輪島市においては約 240 棟が焼損、約 49,000 m²が焼失する大規模火災が発生した甚大な災害となりました。

また、近年、住宅・建築物においては、省エネ対策推進の社会情勢に伴い関係法令や構造・材料など目まぐるしく変化し複雑化しているところです。このような状況を踏まえ、住民に安全・安心を提供する消防行政は住民の生命・財産を守るため、防火対象物には、計画的な予防査察の実施と徹底した違反是正を継続していく必要があります。

予防査察は、消防法第 4 条又は第 16 条の 5 の規定に基づき立入検査を実施し、防火対象物の位置・構造・設備及び管理の状況について指導を行っています。また、住民の安全確保を図るため、消防法令に関する重大な違反のある建物の情報を、利用する方が自ら入手し、建物の利用の適否を判断することで火災被害の軽減を図ることを目的に「違反對象物に係る公表制度」が平成 31 年 4 月 1 日から施行され、これまで 3 件公表し、改善しています。

火災予防広報は、住民の防火意識高揚を図るため、住宅用火災警報器設置効果の周知、春・秋の火災予防運動、高齢者世帯へのリーフレット配布や民間事業所と連携し、建物への動画映写による広報に加え、SNS 等を活用し住宅用火災警報器の設置と維持管理を啓発しています。

日々変化する社会情勢の中で、予防行政の在り方を常に確認し、住民が安心して暮らせる安全な地域づくりに向け、予防行政を推進していきます。

1 主要事務事業

年 月 日	事 務 事 業	実 施 状 況
令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	広 報	市町広報紙・車両広報・防火パンフレットの配布等による防火の呼びかけを実施
令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	同意・通知・承認・届出の処理	建築同意123件・火災予防条例に基づく諸届790件の処理
令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	消防用設備等の検査及び点検報告の受付処理	298件の消防用設備等の検査を実施 1,092件の消防用設備等の点検結果報告書の受付処理
令和5年5月1日 ～ 令和6年2月26日	立 入 検 査 等	814件の防火対象物の立入検査を実施 内違反対象物等の随時査察22件実施 管内の高齢者に対してリーフレットを配布
令和5年4月25日 ～ 令和6年3月31日	訓 練 指 導 等	事業所・学校・自治会等を対象に140件の訓練指導・防災講話等を実施
令和5年11月9日～15日 令和6年3月1日～7日	予 防 運 動	秋季火災予防運動の実施 春季火災予防運動の実施
令和5年6月12日 ～ 令和5年7月14日	花 火 教 室 等	幼稚園・保育園を対象に36件の花火教室、防火映画教室を実施
令和5年7月12日～13日 令和5年11月15日～16日 令和6年2月28日～29日 令和5年11月8日	講 習 会	甲種防火管理新規講習を実施 222 人 甲種防火管理再講習を実施 23 人

2 消防本部・消防署の立入検査状況

(令和5年度)

所 属 \ 項 目	対 象 物 数	計 画 数	実 施 数	実 施 率
消 防 本 部	1,594	382	368	96.3%
袋井消防署	3,295	219	250	114.2%
浅羽分署	1,115	74	69	93.2%
森 分 署	1,158	122	127	104.1%
合 計	7,162	797	814	102.1%

3 防火管理者選任状況

(令和5年度)

市 町 別 \ 項 目	袋井市	森 町	合 計
事 業 所 数	3,496	728	4,224
防火管理者を必要とする事業所	766	128	894
防火管理者選任済事業所	639	126	765
消防計画届出済事業所	618	126	744

4 防火管理講習等実施状況

年度	甲種防火管理新規講習		甲種防火管理再講習		防火・防災管理再講習	
	実施回数	修了人数	実施回数	修了人数	実施回数	修了人数
令和元年度	1	68			1 (防火のみ)	14
令和2年度	1	70	1	31		
令和3年度	2	140	1	50		
令和4年度	2	140	1	20		
令和5年度	3	222	1	23		

5 訓練指導等の状況

(令和5年度)

区分		自主防 自治会	学校等	事業所	その他	計
種 別	消 防 訓 練	5	77	26	8	116
	花火教室等		36			36
	防災講話等	3	14	3	4	24
人 員	参 加 人 員	190	6,680	1,560	316	8,746
	消 防 職 員	37	526	98	65	726

6 消防用設備等の検査状況

年 別 消 防 用 設 備 等		令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
消 火 設 備	消 火 器	45	47	53	53	55
	屋 内 消 火 栓 設 備	10	17	17	15	11
	屋 外 消 火 栓 設 備	7	10	6	14	19
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	5	5	3	4	5
	水 噴 霧 消 火 設 備					
	泡 消 火 設 備			1	1	
	不 活 性 ガ ス 消 火 設 備	1				
	ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備					
	粉 末 消 火 設 備	6	3	1	3	3
	動 力 消 防 ポ ンプ 設 備		10	12	9	5
	パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備	1	3	3		1
	パ ッ ケ ー ジ 型 自 動 消 火 設 備	1		1	2	
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	106	95	102	121	108
	ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備					
	漏 電 火 災 警 報 器					
	消防機関に通報する火災報知設備	21	10	9	12	15
	非 常 警 報 設 備	6	5	4	2	4
避 難 設 備	避 難 器 具	3	3	3	2	2
	誘 導 灯	44	43	40	40	64
	誘 導 標 識	4		2	3	1
そ の 他 の 設 備	消 防 用 水	1			2	4
	排 煙 設 備			1		
	連 結 送 水 管	1	1			1
	非 常 コ ン セ ント 設 備					
合 計		262	252	258	283	298

7 中高層建築物の状況

(令和5年度)

市 町 別 項 目	袋井市	森 町	合 計
3 階	351	39	390
4 階	142	13	155
5 階	53	6	59
6 階	13		13
7 階	6		6
8 階	2		2
10 階	2		2
13 階	1		1
合 計	570	58	628

※一般住宅は、含まれておりません。

8 建築同意の状況

(1) 過去5年間の建築同意件数

年 別 市町別	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
袋 井 市	148	109	134	127	105
森 町	22	20	22	19	18
合 計	170	129	156	146	123

(2) 用途別建築同意件数

(令和5年度)

令別表			新 築		増 築		その他		合計
			袋井市	森町	袋井市	森町	袋井市	森町	
1	イ	劇場・映画館等							
	ロ	公会堂・集会場							
2	イ	キャバレー等							
	ロ	遊 技 場 等							
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等							
	ニ	カラオケボックス等							
3	イ	待合・料理店等							
	ロ	飲 食 店	1	1		1			3
4		百 貨 店 等	3	1	1				5
5	イ	旅館・ホテル等							
	ロ	共 同 住 宅 等	6						6
6	イ	病院・診療所等							
	ロ	介護・障害者福祉(重度)	2		1				3
	ハ	介護・障害者福祉・保育所等	1					1	2
	ニ	幼 稚 園 等							
7		学 校 等					1		1
8		図 書 館 等							
9	イ	蒸気・熱気浴場							
	ロ	公 衆 浴 場							
10		車両の停車場等							
11		神社・寺院等			2				2
12	イ	工場・作業所	8		7			1	16
	ロ	映画スタジオ等							
13	イ	自動車車庫等	1						1
	ロ	飛行機等格納庫							
14		倉 庫	6	2	6	1			15
15		前各項以外の事業所	7	4	1				12
16	イ	特定用途の複合					1		1
	ロ	そ の 他 の 複 合	1						1
17		重要文化財等							
		住 宅 等	49	6					55
合 計			85	14	18	2	2	2	123

9 袋井保安管理協会

(令和5年度)

部 会 名 称	結 成 年 月 日	会 員 数	備 考
1 学 校 安 全 部 会	昭和56年4月1日	63事業所	
2 一般防火部会・高圧ガス部会	〃	104事業所	
3 工 場 防 火 部 会	〃	35事業所	
4 危 険 物 安 全 部 会	〃	152事業所	
合 計		354事業所	

10 幼少年女性防火委員会

(1) 少年消防クラブ

(令和5年度)

名 称	結 成 年 月 日	クラブ員数	備 考
袋井消防少年消防クラブ	令和5年4月1日	43人	
合 計		43人	

(2) 幼年消防クラブ

(令和5年度)

名 称	結 成 年 月 日	クラブ員数	備 考
袋井市	山名幼稚園幼年消防クラブ	平成4年4月1日	146人
	明和第一保育園幼年消防クラブ	平成5年2月1日	79人
	明和第二保育園幼年消防クラブ	平成7年11月1日	93人
	今井幼稚園幼年消防クラブ	平成7年12月20日	46人
	笠原こども園幼年消防クラブ	〃	72人
	田原幼稚園幼年消防クラブ	〃	36人
	西幼稚園幼年消防クラブ	〃	54人
	東幼稚園幼年消防クラブ	〃	38人
	三川幼稚園幼年消防クラブ	〃	38人
	山梨こども園幼年消防クラブ	〃	265人
	若草こども園幼年消防クラブ	〃	154人
	若葉こども園幼年消防クラブ	平成15年6月13日	78人
	たんぽぽ保育園幼年消防クラブ	平成12年11月29日	84人

	めいわ可睡保育園幼年消防クラブ	平成12年12月 6 日	90人	
	袋井ハロー保育園幼年消防クラブ	平成17年12月16日	116人	
	ルンビニこども園幼年消防クラブ	平成 5 年 2 月 1 日	93人	
	あさば保育園幼年消防クラブ	〃	67人	
	浅羽東こども園幼年消防クラブ	平成 7 年12月 1 日	108人	
	浅羽南幼稚園幼年消防クラブ	〃	39人	
	浅羽西幼稚園幼年消防クラブ	〃	29人	
	浅羽北幼稚園幼年消防クラブ	平成15年 6 月12日	26人	
	ルンビニ第二保育園幼年消防クラブ	平成21年 4 月 1 日	102人	
	めいわ月見保育園幼年消防クラブ	令和 3 年 4 月 1 日	89人	
	たんぼば第二保育園幼年消防クラブ	〃	65人	
	愛野こども園幼年消防クラブ	〃	108人	
	どんぐり保育園幼年消防クラブ	〃	58人	
	袋井あそび保育園幼年消防クラブ	〃	115人	
	ルンビニあゆみ園幼年消防クラブ	〃	118人	
	子育てセンターにじいろ幼年消防クラブ	令和 4 年 4 月 1 日	161人	
森町	ときわ保育園幼年消防クラブ	平成 4 年 4 月 1 日	136人	
	摩耶保育園幼年消防クラブ	〃	135人	
	天方幼稚園幼年消防クラブ	平成 7 年12月20日	5人	
	飯田幼稚園幼年消防クラブ	〃	26人	
	一宮幼稚園幼年消防クラブ	〃	11人	
	園田幼稚園幼年消防クラブ	〃	37人	
	森幼稚園幼年消防クラブ	〃	57人	
小 計		袋井市 29クラブ	2,567人	
		森 町 7クラブ	407人	
合 計		36クラブ	2,974人	

(3) 女性防火クラブ

現在 編成なし

危 險 物

危険物施設の概況

管内には、県西部地区の産業基盤である自動車、オートバイの部品製造に関する危険物施設が多く存在します。平成 26 年度以降は、屋外タンク貯蔵所や地下タンク貯蔵所、一般取扱所等は全体的に減少傾向にあったものが、平成 30 年度からは一定の水準（施設数）で推移しております。

また、令和 5 年度は、危険物施設に関する火災は 1 件、流出事故は 0 件でした。危険物施設は減少しても、火災、事故はなくなり、今後も危険物に関する規制や保安管理について適切な指導を実施していきます。

1 危険物施設の推移

製造所等の別 \ 年度		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
製 造 所		11	11	11	11	11	12	13	14	14	14
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	119	120	121	119	115	122	120	120	120	123
	屋外タンク貯蔵所	143	140	136	132	124	122	122	121	121	119
	屋内タンク貯蔵所	5	2	2	2	2	2	2	1	1	1
	地下タンク貯蔵所	71	70	64	64	64	64	61	59	58	59
	簡易タンク貯蔵所	4	4	4	4	4	4	5	6	6	5
	移動タンク貯蔵所	42	44	37	42	42	42	42	40	44	44
	屋 外 貯 蔵 所	10	10	9	9	9	11	11	9	8	9
	小 計	394	390	373	372	360	367	363	356	358	360
取 扱 所	給 油 取 扱 所	74	73	72	72	72	73	73	70	71	70
	一 般 取 扱 所	89	86	84	83	82	80	80	80	80	80
	小 計	163	159	156	155	154	153	153	150	151	150
合 計		568	560	540	538	525	532	529	520	523	524

2 危険物施設状況

製造所等の別 区分		合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所		
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所
施 設 数		524	14	123	119	1	59	5	44	9	70		80
市 町 別	袋 井 市	458	12	103	109	1	54	4	38	8	57		72
	森 町	66	2	20	10		5	1	6	1	13		8
類 別 施 設 数	第 1 類	1											1
	第 2 類	2		2									
	第 3 類												
	第 4 類	498	11	109	119	1	59	5	44	9	70		71
	第 5 類	1		1									
	第 6 類												
	混 在	22	3	11									8
倍 数 別 施 設 数	5 倍 以 下	155	4	49	24		20	5	19	2	3		29
	5 倍を超え 10 倍以下	108	4	30	17	1	15		5	5	3		28
	10 倍を超え 50 倍以下	137	2	21	42		16		12	2	31		11
	50 倍を超え 100 倍以下	59	2	9	22		5		8		7		6
	100 倍を超え 150 倍以下	24	1	8	7		2				5		1
	150 倍を超え 200 倍以下	12	1	6	1		1				3		
	200 倍を超えるもの	29			6						18		5
	計	524	14	123	119	1	59	5	44	9	70		80
事 務 処 理 数	許 可	設 置	10		2	3		1		2	1		1
		変 更	54	5	3	3					6		37
	常 置 場 所 の 変 更	転 出											
		転 入											
	完 成 検 査	設 置	9		3	1		1		2	1		1
		変 更	49	6	2	3					6		32
		転 入											
	仮 使 用 承 認		56	5	3	2					4		42
	廃 止 届		8			3			1	2	1		1
	計		186	16	13	15		2	1	6	2	17	114

火

災

火 災 の 概 況

令和5年1月1日から令和5年12月31日までの火災件数は28件で、前年（20件）から8件増加しています。これは、約13日に1件の割合で火災が発生したことになります。

火災種別ごとにみると、「建物火災」が13件（46%）、「その他火災」が12件（43%）、「林野火災」が2件（7%）、「車両火災」が1件（4%）の順となっています。

建物火災の焼損床面積は、611㎡で前年より121㎡の減少、焼損表面積は70㎡で前年より54㎡の増加となりました。

損害額については、54,287千円で前年より2,704千円の増加となり、建物火災の損害額が53,615千円で全体の約95%を占めています。

火災による死者数は2人で、負傷者数は0人でした。前年と比較すると、死者は1人増加し、負傷者は1人減少しました。

主な出火原因は、「火入れ」が6件で最も多く、次いで「放火（疑い含む）」が3件となっています。

1 令和5年の火災

(1) 火災の状況

区 分			計	内 訳	
				袋井市	森 町
出 火 件 数			28	19	9
焼 損 面積	建物 (㎡)	床 面 積	611	283	328
		表 面 積	70	70	0
	林 野 (a)		9	5	4
損 害 額 (千 円)			54,287	29,627	24,660
人口 1 万人当りの出火件数			2.6	2.1	5.2

令和6年1月1日現在人口 (105,661人) (88,429人) (17,232人)

(2) 火災の概要(前年比較)

年 別 区 分			令和5年	令和4年	増 減
出火 件数	建 物		13	9	4
	林 野		2	0	2
	車 両		1	6	△5
	そ の 他		12	5	7
	計		28	20	8
焼損 面積	建物 (㎡)	床 面 積	611	732	△121
		表 面 積	70	16	54
	林 野 (a)		9	0	9
	そ の 他 (㎡)		4,848	2,560	2,288
損 害 額 (千 円)			54,287	51,583	2,704
死 者			2	1	1
負 傷 者			0	1	△1
り 災 世 帯 数			8	7	1
り 災 人 員			18	16	2

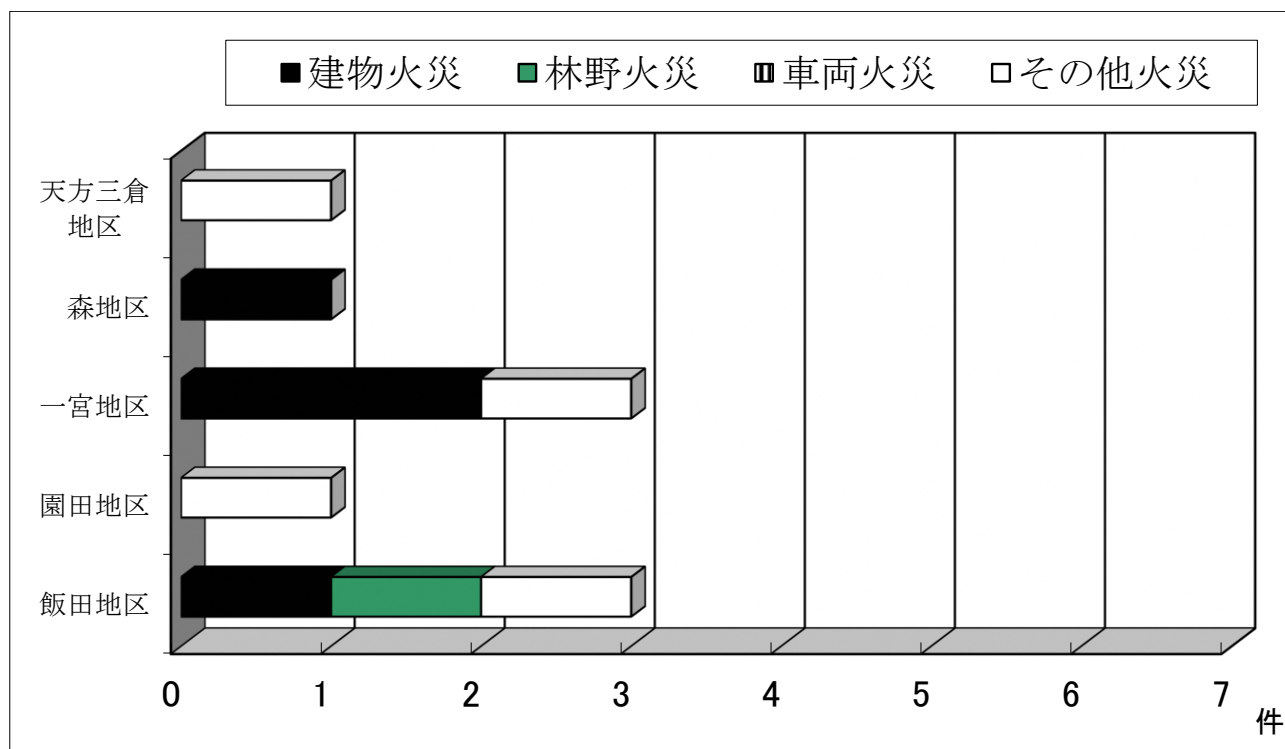
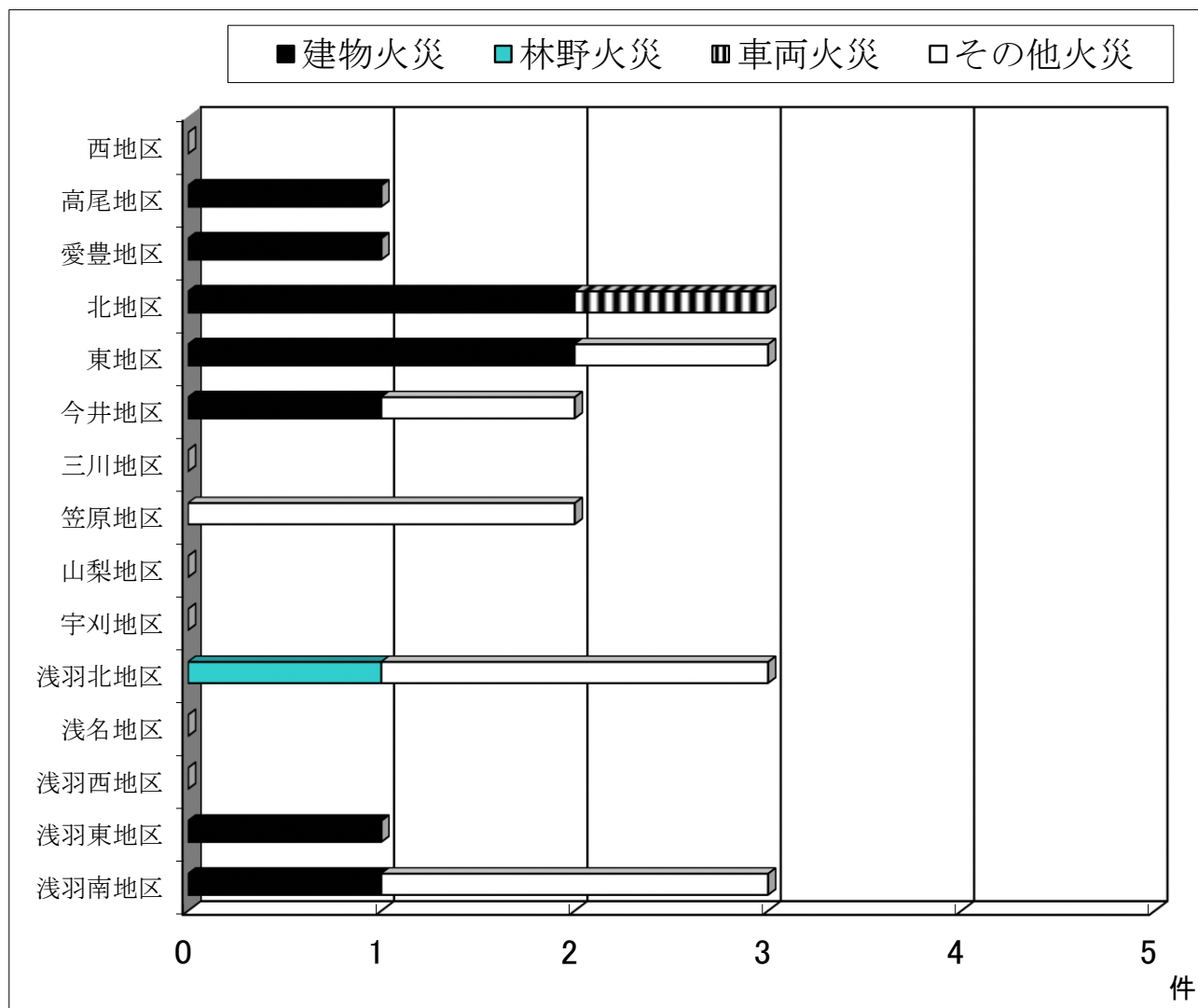
2 月別火災発生状況

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
出火物件数	建物 (件)	5	5	3	2			2	2	1	3	4	1	28
	林野 (件)	3	1	1	1			1	2	1	1	1	1	13
	車両 (件)	1										1		2
	その他 (件)			1										1
	その他 (件)	1	4	1	1			1			2	2		12
焼損棟数		4	1	1	1			1	3	1	2	1	3	18
住家全焼 (棟)									1				1	2
住家半焼 (棟)														
住家部分焼 (棟)									1				1	2
住家ぼや (棟)		2			1					1				4
非住家 (棟)		2	1	1				1	1		2	1	1	10
り災世帯数		2			1				2	1			2	8
り災人員 (人)		5			1				2	5			5	18
死者 (人)									1				1	2
負傷者 (人)														
焼損面積	建物床面積	32							251		111		217	611
	表面積								70					70
	林野 (a)	4										5		9
	その他 (㎡)	84	2,958	729	159			3			135	780		4,848
損害額 (千円)		105	30	166	9			123	28,876		3,467	510	21,001	54,287
建物		105	20	116	9			123	28,714		3,467	450	20,611	53,615
林野														
車両				50					162			60	390	662
その他			10											10

3 出火原因別火災発生状況

区 分 市町別	計		袋井市		森町	
	令和5年	令和4年	令和5年	令和4年	令和5年	令和4年
たばこ	2		1		1	
こんろ	2	1	2	1		
かまど						
風呂かまど						
炉						
焼却炉		1				1
ストーブ		1		1		
こたつ						
ボイラー						
煙突・煙道	2		1		1	
排気管	1	1	1			1
電気機器						
電気装置						
電灯・電話等の配線	1	1	1	1		
内燃機関						
配線器具		2		1		1
火あそび	1		1			
マッチ・ライター						
たき火						
溶接機・切断機	1				1	
灯 火						
衝突の火花						
取 灰						
火 入 れ	6	3	3		3	3
放 火						
放火の疑い	3	1	3	1		
そ の 他		5		2		3
不 明 ・ 調 査 中	9	4	6	4	3	
合 計	28	20	19	11	9	9

4 地区別火災発生件数



5 過去5年間の火災状況

年 区 分			令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
出 火 件 数			34	27	27	20	28
建 物 (件)			20	13	15	9	13
林 野 (件)			0	0	0	0	2
車 両 (件)			4	4	2	6	1
そ の 他 (件)			10	10	10	5	12
焼 損 棟 数			23	18	16	12	18
住 家 全 焼 (棟)			2	1	0	3	2
住 家 半 焼 (棟)			0	0	0	1	0
住 家 部 分 焼 (棟)			3	2	4	2	2
住 家 ぼ や (棟)			4	3	5	1	4
非 住 家 (棟)			14	12	7	5	10
り 災 世 帯 数			20	7	8	7	8
り 災 人 員 (人)			31	16	24	16	18
死 者 (人)			0	1	1	1	2
負 傷 者 (人)			1	0	1	1	0
焼 損 面 積	建物 (㎡)	床面積	2, 352	990	124	732	611
		表面積	24	5	114	16	70
	林野 (a)		207	0	0	0	9
	その他 (㎡)		3, 019	2, 056	9, 629	2, 560	4, 848
損 害 額 (千円)			361, 684	202, 070	5, 565	51, 583	54, 287
建 物			340, 917	197, 334	4, 643	50, 502	53, 615
林 野			0	0	0	0	0
車 両			18, 962	4, 306	675	1, 072	662
そ の 他			1, 805	430	247	9	10

6 過去 10 年間の主な火災（損害額 1 千万円以上の火災）

区分 年月日	出火 時刻	発 生 場 所	火元 用途	気 象				焼損 面積 (㎡)	損害額 (千円)
				天候	風向	風速	湿度		
26. 1. 25	18:30	袋井市岡崎	住宅	曇	SW	4.0	11.0	127	18,327
27. 5. 11	7:40	袋井市上山梨	車庫	晴	S	3.0	53.0	563	35,670
27. 11. 30	18:50	袋井市梅山	住宅	晴	E	0.0	84.0	353	47,343
28. 7. 25	16:35	袋井市泉町	住宅	晴	S	5.0	82.0	286	22,859
29. 4. 24	8:00	袋井市久能	倉庫	雨	S	4.0	100	196	14,201
29. 8. 13	11:25	袋井市春岡	住宅	晴	ESE	3.0	76.0	145	20,401
29. 11. 20	12:30	袋井市湊	工場	晴	WNW	7.0	57.0	322	31,801
29. 11. 28	19:45	袋井市高尾	工場	晴	N	2.0	92.9	134	25,254
30. 2. 9	7:50	袋井市上山梨	住宅	晴	WNW	2.0	49.0	279	33,271
30. 8. 13	17:40	袋井市諸井	住宅	雨	NNW	4.0	97.0	84	21,863
31. 1. 19	3:50	袋井市村松	工場	晴	W	6.0	51.0	1,408	240,339
31. 3. 20	14:43	袋井市西同笠	倉庫	晴	S	5.0	41.0	487	81,952
2. 2. 6	3:20	袋井市高尾	工場	晴	WNW	9.0	38.0	65	11,249
2. 5. 25	0:40	袋井市東同笠	倉庫	晴	NW	1.0	81.0	425	81,002
2. 11. 5	不明	袋井市宇刈	物置	晴	NNW	1.0	61.0	265	96,416
4. 5. 14	16:20	森町森	住宅	晴	WSW	8.0	55.0	323	26,746
4. 5. 17	3:40	袋井市山田	住宅	曇	WNW	1.0	92.0	162	13,161
5. 8. 7	1:30	袋井市東同笠	住宅	曇	E	4.0	98.0	132	22,044
5. 12. 15	4:00	森町向天方	住宅	雨	W	3.0	66.0	217	21,001

無 線 ・ 1 1 9

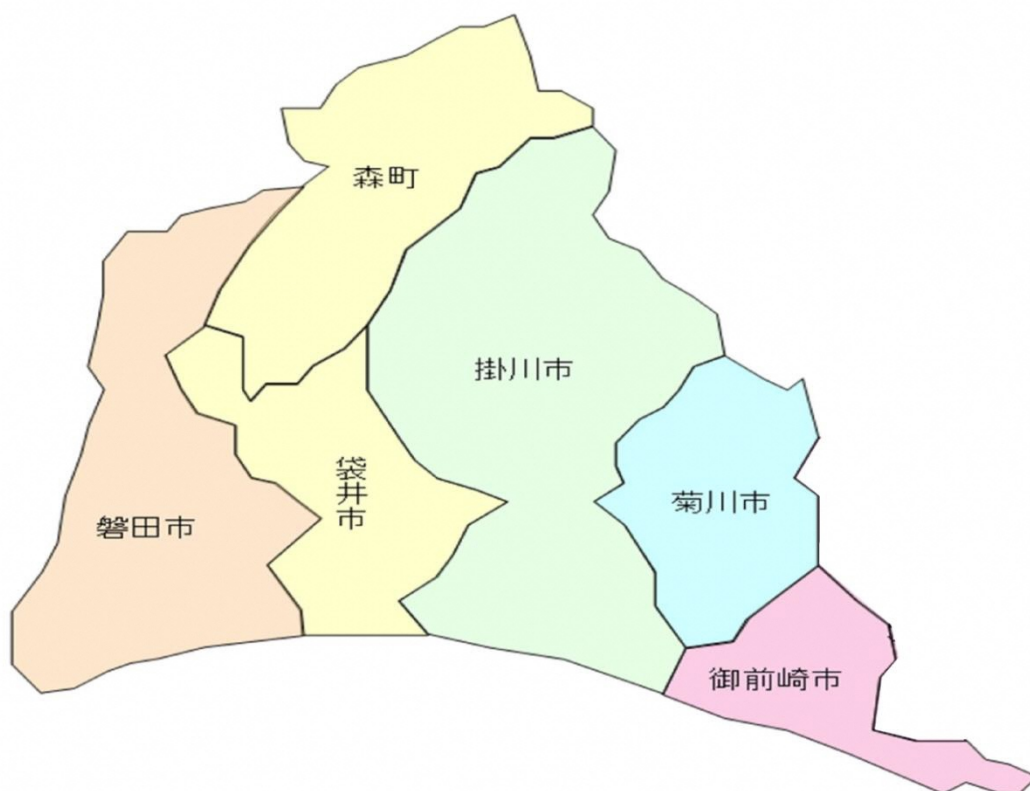
無線・119の概況

当消防本部の通信指令業務は、平成24年4月から中東遠（磐田市・掛川市・菊川市・御前崎市）地域の5消防本部による、「中東遠消防指令センター」で共同運用しております。

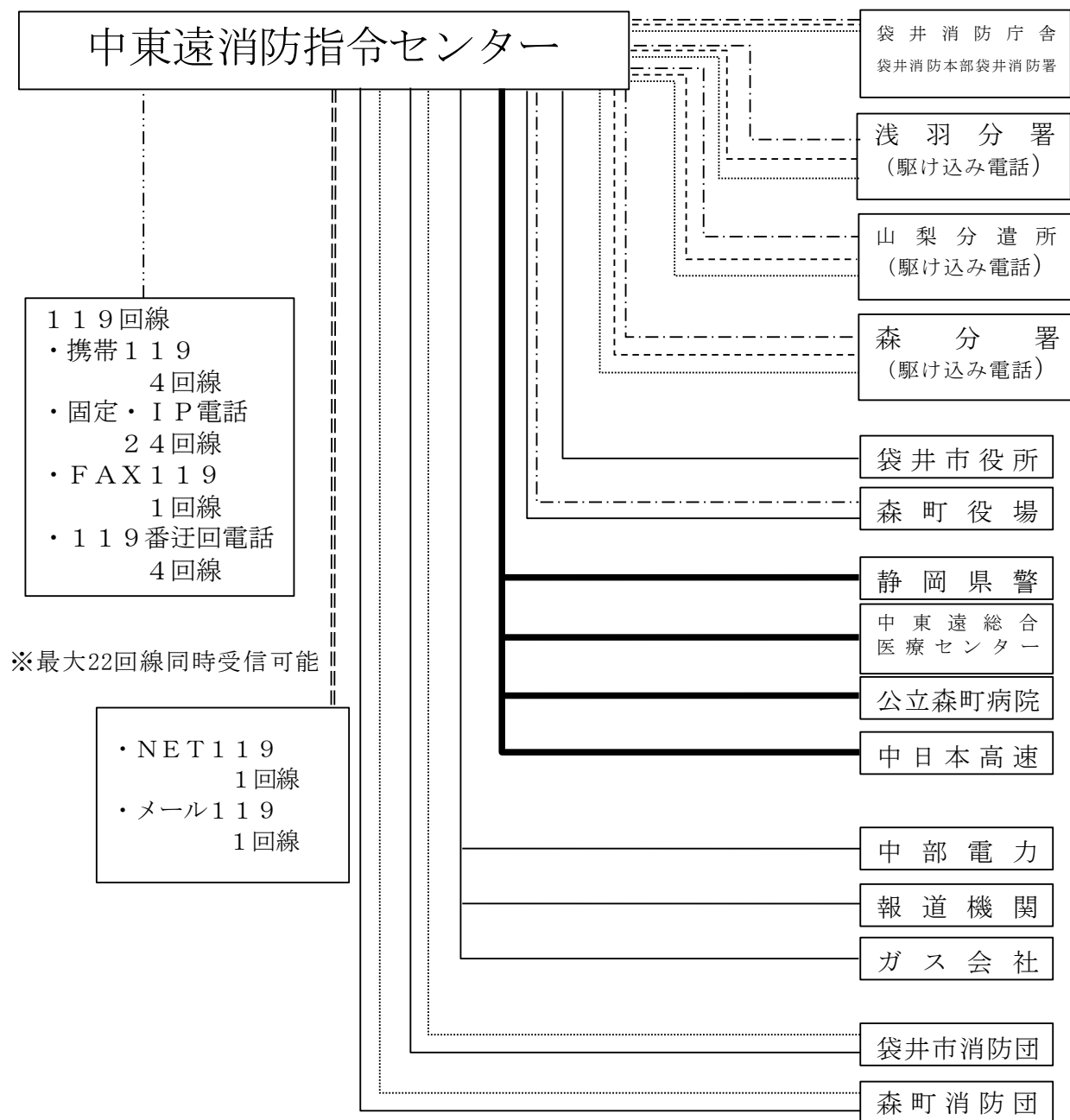
主なシステムは、地図検索装置、自動出動指定装置等から構成され、119番等の緊急通報に対する発信地表示システムの導入により、災害発生場所を早期に確定し、最適な出動隊を自動で編成することで、現場到着までの時間短縮に繋がり、災害による被害の軽減、救命率の向上を図っております。

また、通報者に対し、救急車が現場に到着するまでの間、応急処置の方法や心肺蘇生法等について口頭指導を実施しております。

電波法の管理下にある消防救急無線は、法改正されアナログ無線方式から秘匿性の確保、個人情報漏洩が少ないデジタル無線方式へ移行しました。中東遠消防指令センターの母体である、中東遠地域5消防本部消防通信指令事務協議会において、5消防本部のデジタル無線を共同整備し、平成28年4月1日に運用を開始しました。



1 連絡の仕組み



- 119専用電話
- - - - - 火災救急一斉指令
- 無線
- 専用線
- 加入電話
- ===== インターネット回線
- ICCメール配信システム

2 消防無線の状況

基 地 局	署 々 別		呼 出 名	出力	機種名	搭載車両等
小笠山 5W 城ヶ平 5W 活動波 主運用波 統制波	本 部	移動局	ふくろいしょうぼう	5W	ゼネラル	遠隔制御器
			ふくろい 51	10W	ゼネラル	指令車
			ふくろい 52	10W	ゼネラル	指揮支援車
			ふくろい 65	10W	ゼネラル	査察車
			ふくろい 66	10W	ゼネラル	支援車
			ふくろい 73	10W	ゼネラル	広報車
			ふくろい 160	10W	ゼネラル	卓上無線機（半固定）
		携 帯	ふくろい 151	5W	ゼネラル	警防課長
			ふくろい 152	5W	ゼネラル	予防課長
			ふくろい 155	5W	ゼネラル	緊急消防援助隊用
			ふくろい 156	5W	ゼネラル	緊急消防援助隊用
	本 署	移動局	ふくろい 62	10W	ゼネラル	指揮車
			ふくろい 1	10W	ゼネラル	水槽付ポンプ車
			ふくろい 2	10W	ゼネラル	ポンプ車
			ふくろい 7	10W	ゼネラル	化学車
			ふくろい 31	10W	ゼネラル	小型はしご付ポンプ車
			ふくろい 41	10W	ゼネラル	救助工作車
			ふくろい 61	10W	ゼネラル	連絡車
			ふくろい 74	10W	ゼネラル	資機材搬送車
			きゅうきゅうふくろい 1	10W	ゼネラル	高規格救急車
			きゅうきゅうふくろい 2	10W	ゼネラル	高規格救急車
			きゅうきゅうふくろい 3	10W	ゼネラル	高規格救急車
		携 帯	ふくろい 100	5W	ゼネラル	指揮車
			ふくろい 101	5W	ゼネラル	水槽付ポンプ車
			ふくろい 102	5W	ゼネラル	ポンプ車
			ふくろい 103	5W	ゼネラル	化学車
			ふくろい 104	5W	ゼネラル	小型はしご付ポンプ車
			ふくろい 105	5W	ゼネラル	救助工作車
			ふくろい 106	5W	ゼネラル	高規格救急車
			ふくろい 107	5W	ゼネラル	高規格救急車
			ふくろい 150	5W	ゼネラル	消防署長
	浅羽分署	移動局	ふくろい 3	10W	ゼネラル	水槽付ポンプ車
			ふくろい 6	10W	ゼネラル	ポンプ車
			ふくろい 64	10W	ゼネラル	連絡車
			きゅうきゅうあさば 1	10W	ゼネラル	高規格救急車
			ふくろい 162	10W	ゼネラル	卓上型無線機（半固定）
		携 帯	ふくろい 131	5W	ゼネラル	水槽付ポンプ車
			ふくろい 132	5W	ゼネラル	ポンプ車
			ふくろい 133	5W	ゼネラル	高規格救急車

基 地 局	署 々 別		呼 出 名	出力	機種名	搭載車両等
小笠山 5W	山梨分遣所	移動局	ふくろい 8	10W	ゼネラル	水槽付ポンプ車
			きゅうきゅうやまなし 1	10W	ゼネラル	高規格救急車
			ふくろい 161	10W	ゼネラル	卓上型無線機（半固定）
		携帯	ふくろい 141	5W	ゼネラル	水槽付ポンプ車
			ふくろい 142	5W	ゼネラル	高規格救急車
城ヶ平 5W	森分署	移動局	ふくろい 4	10W	ゼネラル	水槽付ポンプ車
			ふくろい 5	10W	ゼネラル	ポンプ車
			ふくろい 63	10W	ゼネラル	連絡車
			きゅうきゅうもり 1	10W	ゼネラル	高規格救急車
			ふくろい 163	10W	ゼネラル	卓上型無線機（半固定）
		携帯	ふくろい 121	5W	ゼネラル	水槽付ポンプ車
ふくろい 122	5W		ゼネラル	ポンプ車		
ふくろい 123	5W		ゼネラル	高規格救急車		
活動波	森分署	移動局	ふくろい 170	10W	ゼネラル	消防災害対策本部用
			ふくろい 171	10W	ゼネラル	現場指揮所用
			ふくろい 172	10W	ゼネラル	西部方面消防応援活動調整本部用
			ふくろい 173	10W	ゼネラル	森町災害対策本部用
主運用波	森分署	携帯				
統制波	森分署	携帯				

4 0 0 MHz 帯無線

署々別		呼 出 名	出力	機 種 名
本 部	携 帯	ふくろい 451	1W	アイコム
		ふくろい 452	1W	アイコム
		ふくろい 471	1W	アイコム
		ふくろい 472	1W	アイコム
		ふくろい 473	1W	アイコム
		ふくろい 474	1W	アイコム
		ふくろい 475	1W	スタンダード
		ふくろい 476	1W	スタンダード
		ふくろい 477	1W	スタンダード
		ふくろい 478	1W	八重洲無線
本 署	携 帯	ふくろい 400	1W	ゼネラル
		ふくろい 401	1W	ゼネラル
		ふくろい 402	1W	ゼネラル
		ふくろい 403	1W	ゼネラル
		ふくろい 404	1W	ゼネラル
		ふくろい 405	1W	ゼネラル
		ふくろい 406	1W	ゼネラル
		ふくろい 407	1W	ゼネラル
		ふくろい 408	1W	ゼネラル
		ふくろい 409	1W	ゼネラル
		ふくろい 410	1W	ゼネラル
		ふくろい 411	1W	ゼネラル
		ふくろい 412	1W	ゼネラル
		ふくろい 413	1W	ゼネラル
		ふくろい 414	1W	ゼネラル
		ふくろい 415	1W	ゼネラル
		ふくろい 416	1W	ゼネラル
		ふくろい 417	1W	ゼネラル
		ふくろい 418	1W	ゼネラル
		ふくろい 419	1W	ゼネラル
		ふくろい 461	1W	ゼネラル

署々別		呼 出 名	出力	機 種 名
浅 羽	携 帯	ふくろい 431	1W	アイコム
		ふくろい 432	1W	アイコム
		ふくろい 433	1W	アイコム
		ふくろい 434	1W	アイコム
		ふくろい 435	1W	アイコム
		ふくろい 436	1W	アイコム
		ふくろい 437	1W	アイコム
		ふくろい 438	1W	アイコム
		ふくろい 441	1W	ゼネラル
		ふくろい 442	1W	ゼネラル
山 梨	携 帯	ふくろい 443	1W	ゼネラル
		ふくろい 444	1W	ゼネラル
		ふくろい 445	1W	八重洲無線
		ふくろい 421	1W	アイコム
森	携 帯	ふくろい 422	1W	アイコム
		ふくろい 423	1W	アイコム
		ふくろい 424	1W	アイコム
		ふくろい 425	1W	アイコム
		ふくろい 426	1W	アイコム
		ふくろい 427	1W	アイコム
		ふくろい 428	1W	アイコム

3 中東遠地域災害情報受信状況

令和5年1月1日から令和5年12月31日までの中東遠地域における119番通報は24,862件、1日当たり約68件です。

内訳は、火災・救急・救助・その他災害等の緊急通報が19,332件、いたずら235件、間違い3,241件、問合せ1,657件、その他397件で、緊急性のある通報は全体の77.8%です。（試験等は除く）

なお、携帯電話による通報が13,851件と一番多く、次いでIP電話が7,884件、NTT固定電話が3,127件となっています。

令和5年の袋井消防本部管内（袋井市・森町）における119番通報は5,423件です。

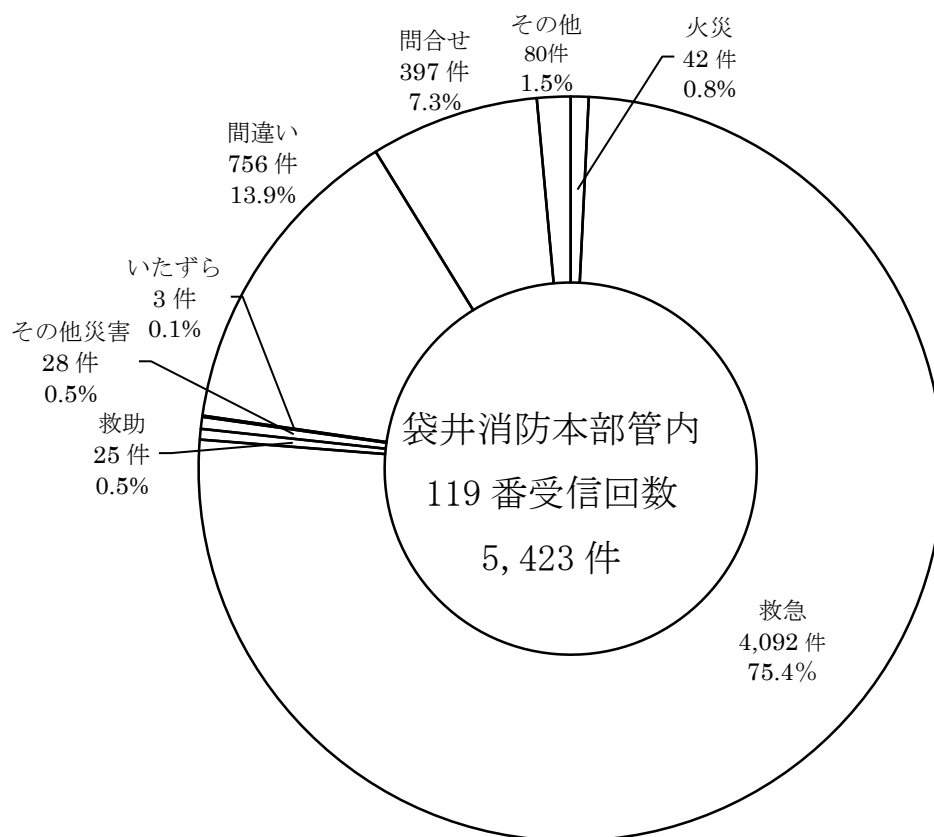
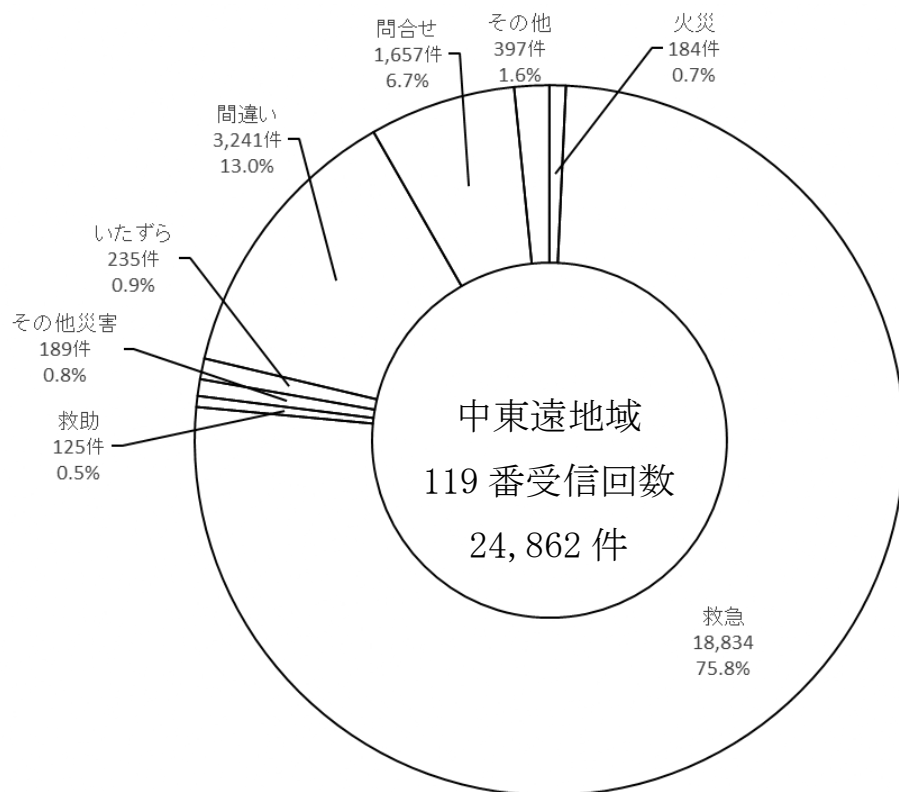
内訳は、火災・救急・救助・その他災害等の緊急通報が4,187件、いたずら3件、間違い756件、問合せ397件、その他80件で、緊急性のある通報は全体の77.2%です。

なお、携帯電話による通報が3,286件と一番多く、次いでIP電話が1,511件、NTT固定電話が626件となっています。

中東遠地域での袋井消防本部管内の119番受信比率は21.8%で、人口比率の22.6%（令和2年国勢調査データ参考）とほぼ同程度となっています。

（1）119番通報受付状況（令和5年）

種別	中東遠（5市1町）				袋井消防本部（袋井市・森町）			
	固定	IP	携帯	計	固定	IP	携帯	計
火 災	9	26	149	184	1	3	38	42
救 急	2,531	6,799	9,504	18,834	507	1,380	2,205	4,092
救 助	7	14	104	125	0	4	21	25
その他災害	38	15	136	189	9	5	14	28
小計	2,585	6,854	9,893	19,332	517	1,392	2,278	4,187
いたずら	12	209	14	235	0	0	3	3
間違い	255	340	2,646	3,241	52	46	658	756
問合せ	206	416	1,035	1,657	44	61	292	397
その他	69	65	263	397	13	12	55	80
小計	542	1,030	3,958	5,530	109	119	1,008	1,236
合計	3,127	7,884	13,851	24,862	626	1,511	3,286	5,423



※ 試験・通報訓練は除く

(2) 袋井消防本部（袋井市・森町）月別 119 番通報受付状況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火 災	固定	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	I P	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3
	携帯	3	6	2	1	0	2	1	5	0	3	8	7	38
	小計	4	6	2	2	0	2	1	5	0	5	8	7	42
救 急	固定	63	42	27	33	34	42	48	37	44	43	43	51	507
	I P	148	89	126	108	111	107	132	128	109	102	109	111	1,380
	携帯	195	161	157	151	173	180	220	232	174	206	174	182	2,205
	小計	406	292	310	292	318	329	400	397	327	351	326	344	4,092
救 助	固定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	I P	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	4
	携帯	2	2	1	3	0	0	2	4	1	3	1	2	21
	小計	3	2	2	3	0	1	2	4	1	3	2	2	25
その他災害	固定	0	1	2	0	1	2	1	1	0	0	1	0	9
	I P	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	5
	携帯	1	1	1	0	0	1	1	1	1	2	3	2	14
	小計	2	2	4	0	1	3	2	2	1	3	6	2	28
いたづら	固定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	I P	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	携帯	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3
	小計	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3
間違い	固定	7	1	5	3	4	7	8	4	5	3	2	3	52
	I P	3	3	2	1	4	1	8	5	3	6	7	3	46
	携帯	41	47	56	50	67	94	101	55	57	27	24	39	658
	小計	51	51	63	54	75	102	117	64	65	36	33	45	756
問合せ	固定	4	3	2	3	4	6	2	3	3	5	6	3	44
	I P	4	2	9	5	4	3	6	3	6	8	4	7	61
	携帯	23	16	32	29	16	27	28	40	18	21	24	18	292
	小計	31	21	43	37	24	36	36	46	27	34	34	28	397
その他	固定	2	0	2	1	0	3	0	2	0	2	0	1	13
	I P	1	0	1	1	2	1	0	0	3	0	2	1	12
	携帯	3	3	6	11	6	8	1	3	4	3	7	0	55
	小計	6	3	9	13	8	12	1	5	7	5	9	2	80
合計		503	378	433	401	426	486	559	524	428	437	418	430	5,423

4 車載端末装置の設置状況

車載端末装置とは、車両動態管理システム（ＡＶＭ）とＧＰＳによる位置通知システム、消防専用カーナビゲーションシステムを有した液晶タッチパネル式のナビゲーションシステムであります。緊急自動車に設置することで、災害現場に直近の部隊を自動で編成するとともに、指令と同時に災害現場までの最短ルートや通報時の情報等を車載端末モニターに表示することができるなど、迅速な初動体制を実現します。

署所	車両名称	搭載車両等	機種名	備考
本部	袋 井 5 1	指令車		
	袋 井 5 2	指揮支援車	Ⅲ型	
	袋 井 6 5	査察車	Ⅲ型	
	袋 井 7 3	広報車		
		事務連絡車		
	袋 井 1	水槽付ポンプ車	Ⅲ型	
	袋 井 2	ポンプ車	Ⅲ型	
	袋 井 7	化学車	Ⅲ型	
	袋 井 3 1	小型はしご付ポンプ車	Ⅲ型	
	袋 井 4 1	救助工作車	Ⅲ型	
	救急袋井 1	高規格救急車	Ⅲ型	
	救急袋井 2	高規格救急車	Ⅲ型	
	救急袋井 3	高規格救急車		
	袋 井 6 1	連絡車		
	袋 井 6 2	指揮車	Ⅲ型	
	袋 井 6 6	支援車	Ⅲ型	
	袋 井 7 4	資機材搬送車		
浅羽分署	袋 井 3	水槽付ポンプ車	Ⅲ型	
	袋 井 6	ポンプ車	Ⅲ型	
	救急浅羽 1	高規格救急車	Ⅲ型	
	袋 井 6 4	連絡車	Ⅲ型	
山分遣所	袋 井 8	水槽付ポンプ車	Ⅲ型	
	救急山梨 1	高規格救急車	Ⅲ型	
森分署	袋 井 4	水槽付ポンプ車	Ⅲ型	
	袋 井 5	ポンプ車	Ⅲ型	
	救急 森 1	高規格救急車	Ⅲ型	
	袋 井 6 3	連絡車	Ⅲ型	

Ⅲ型…車両動態管理システム（ＡＶＭ）とＧＰＳによる位置通知システム、消防専用カーナビゲーションシステムを有する。

警

防

警 防 の 概 況

近年発生した、集合住宅・雑居ビル等の火災や、強風下における大火災、大規模倉庫火災等に対する防ぎよ体制の検討が全国的に進められております。

当消防本部においても、これらの災害に迅速かつ的確に対応するため、消防戦術の見直しや検討を行い、高度化する警防技術の習得を主眼に、災害による被害の軽減に向けて警防体制の強化に努めています。

1 消防本部・消防署の車両状況

(1) 現有台数

令和6年4月1日現在

	本部	本署	浅羽分署	山梨分遣所	森分署	計
消防ポンプ自動車		1	1		1	3
水槽付消防ポンプ自動車		1	1	1	1	4
小型はしご付消防ポンプ自動車		1				1
化学消防ポンプ自動車		1				1
救助工作車		1				1
高規格救急自動車		3	1	1	1	6
指令車	1					1
指揮車		1				1
指揮支援車	1					1
査察車・連絡車・広報車	3	1	1		1	6
支援車・資機材搬送車		2				2
計	5	12	4	2	4	27

(2) 配備状況

令和6年4月1日現在

区分	車 両 名	車名	購入 年度	製造所・事業者等	経過 年数	登録番号
本 部	指 令 車	トヨタ	R 1	(有)袋井モータース	4	浜松 800 す 8374
	指 揮 支 援 車	トヨタ	R 3	(有)袋井モータース	2	浜松 800 す 9791
	査 察 車	ホンダ	H20	(有)袋井モータース	15	浜松 800 す 2160
	広 報 車	トヨタ	R 3	(有)袋井モータース	2	浜松 800 す 9793
	事 務 連 絡 車	トヨタ	R 4	(有)尾関モータース	1	浜松 502 む 6480
本 署	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H14	(株)モリタ	21	浜松 830 は 119
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H25	(株)モリタ	10	浜松 800 す 5309
	化学消防ポンプ自動車	日 野	H24	(株)モリタ	11	浜松 800 は 837
	小型はしご付消防ポンプ自動車	日 野	H30	(株)モリタ	5	浜松 800 は 1123
	救 助 工 作 車	日 野	H24	(株)モリタ	11	浜松 800 は 835
	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタ	R 2	(有)袋井モータース	3	浜松 800 す 9078
	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタ	H26	静岡トヨタ自動車(株)	9	浜松 800 す 5779
	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタ	H24	静岡トヨタ自動車(株)	11	浜松 800 す 4741
	連 絡 車	ダイハツ	H18	下村モータース	17	浜松 883 あ 61
	指 揮 車	トヨタ	H27	平和機械株式会社	8	浜松 800 す 6298
	支 援 車	三 菱	H29	旭産業(株)	6	浜松 800 す 7374
	資 機 材 搬 送 車	トヨタ	R 3	(有)袋井モータース	2	浜松 800 す 9805
浅 羽	水槽付消防ポンプ自動車	いすゞ	H26	(株)モリタ	9	浜松 800 は 931
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	R 4	(株)モリタ	1	浜松 800 せ 399
	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタ	H28	静岡トヨタ自動車(株)	7	浜松 800 す 6820
	連 絡 車	トヨタ	H29	ネットトヨタ浜松(株)	6	浜松 800 す 7375
山 梨	水槽付消防ポンプ車	日 野	H27	(株)モリタ	8	浜松 800 は 993
	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタ	R 5	(有)袋井モータース	0	浜松 800 せ 877
森	水槽付消防ポンプ自動車	いすゞ	H16	(株)モリタ	19	浜松 800 は 390
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H20	(株)モリタ	15	浜松 800 す 2294
	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタ	R 1	(有)袋井モータース	4	浜松 800 す 8471
	連 絡 車	トヨタ	H28	ネットトヨタ浜松(株)	7	浜松 800 す 6718

2 消防水利の状況

令和6年4月1日現在

区分 地域別		公設消火栓			公設防火水槽							防 火 井 戸	総計	
		地下	地上	合計	耐震性				非耐震性					合計
					40t	60t	100t	小 計	40t 未満	40t 以上	小 計			
袋 井 市		1, 260	6	1, 266	362	5	40	407	188	47	235	642	26	1, 934
森 町		243	4	247	40	0	0	40	57	10	67	107	0	354
計		1, 503	10	1, 513	402	5	40	447	245	57	302	749	26	2, 288
袋 井 市	西 地 区	132		132	34	2	4	40	14	3	17	57	1	190
	高尾地区	122	1	123	26	1	8	35	2	3	5	40	2	165
	愛豊地区	121		121	39		2	41	14	1	15	56		177
	北 地 区	168		168	47		5	52	16	1	17	69	10	247
	東 地 区	97		97	18		4	22	13	1	14	36		133
	今井地区	55		55	25		1	26	15		15	41		96
	三川地区	53		53	18	1	1	20	13	3	16	36		89
	笠原地区	74		74	25		1	26	22	6	28	54		128
	山梨地区	101		101	25	1	6	32	5	4	9	41	7	149
	宇刈地区	34		34	15			15	12	3	15	30		64
	浅羽北地区	82	2	84	15		2	17	17	10	27	44	1	129
	浅名地区	36	1	37	12		3	15	9	2	11	26		63
	浅羽西地区	56		56	21		1	22	10	3	13	35		91
	浅羽東地区	47		47	25		1	26	8	1	9	35	1	83
	浅羽南地区	82	2	84	17		1	18	18	6	24	42	4	130
森 町	天方三倉地区	4		4	9			9	13		13	22		26
	森 地 区	109	3	112	12			12	3	6	9	21		133
	一宮地区	39		39	5			5	6	1	7	12		51
	園田地区	41		41	8			8	22	1	23	31		72
	飯田地区	50	1	51	6			6	13	2	15	21		72

救

急

救 急 の 概 況

令和5年1月1日から令和5年12月31日までの救急活動状況は、出動件数4,175件、搬送人員3,380人で、前年に比べ出動件数は254件増加し、搬送人員も367人増加しました。このことは1日平均約11.4件で、約2時間6分に1回の割合で救急車が出動したことになります。なお、1日の最多救急出動件数は27件でした。

また、ポンプ車が救急隊支援のため出動した件数は885件（救急出動件数の21.2%）で、昨年に比べ9件増加しました。

出動件数を11種類に分類した事故種別で見ると、「急病」が最も多く、次いで「一般負傷」、「その他（転院搬送等）」、「交通事故」の順番となり、急病2,871件（68.8%）、一般負傷603件（14.4%）の両種別が、全体の83.2%を占めています。

搬送人員は3,380人で、「急病」2,315人（68.5%）と最も多く、次いで「一般負傷」480人（14.2%）となり、両種別で全体の82.7%を占めています。

また、収容先医療機関では、「中東遠総合医療センター」、「公立森町病院」を中心に管内の6医療機関へ2,903人（85.9%）、管外の医療機関へ477人（14.1%）収容しました。

搬送人員の内訳を年齢区分別にみると、高齢者が2,119人（62.7%）、成人が994人（29.4%）、乳幼児が167人（4.9%）などとなっています。

1 市町別救急出動状況

市町別	年別	令和5年		令和4年		比較増減(件数)
		出動件数	構成比%	出動件数	構成比%	
袋井市		3,383	81.0	3,149	80.3	234
		688	77.7	727	83.0	▲ 39
森町		757	18.0	723	18.4	34
		178	20.1	126	14.4	52
東名高速道路		6	0.2	7	0.2	▲ 1
		5	0.6	4	0.5	1
新東名高速道路		23	0.6	36	0.9	▲ 13
		13	1.5	19	2.2	▲ 6
管轄外		6	0.2	6	0.2	0
		1	0.1	0	0.0	1
合計		4,175	100.0	3,921	100.0	254
		885	100.0	876	100.0	9

※ 網掛けは支援出動に関する値。

2 事故別救急出動状況

事故別	区分	出動件数	救急件数	出動件数 構成比%	搬送人員		
					男	女	計
火災		7		0.2			
自然災害							
水難		1					
交通		280	205	6.7	125	88	213
労働災害		50	45	1.2	36	9	45
運動競技		20	12	0.5	10	2	12
一般負傷		603	480	14.4	202	278	480
加害		8	5	0.2	2	3	5
自損行為		45	25	1.1	10	15	25
急病		2,871	2,314	68.8	1,271	1,044	2,315
その他		290	285	6.9	154	131	285
合計		4,175	3,371	100.0	1,810	1,570	3,380

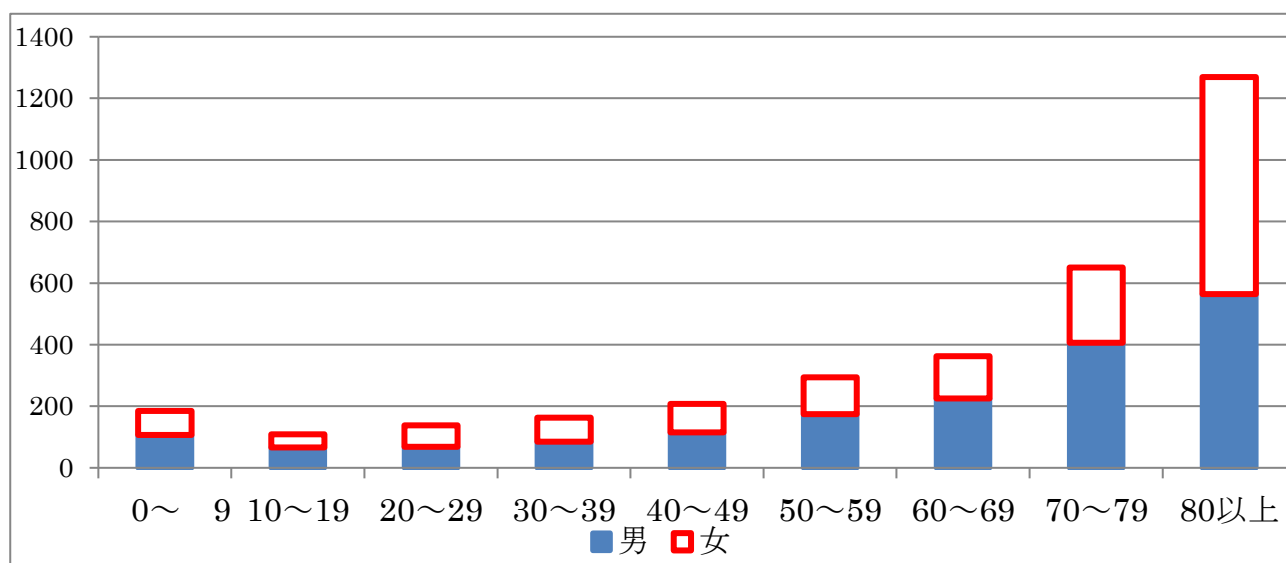
※ 救急件数とは傷病者を搬送した件数。

3 市町等事故別救急出動件数

市町別 事故別	袋井市	森 町	東 名	新東名	管轄外	合 計
火 災	4	3				7
自 然 災 害						
水 難	1					1
交 通	231	37	1	10	1	280
労 働 災 害	38	12				50
運 動 競 技	17	3				20
一 般 負 傷	481	121		1		603
加 害	8					8
自 損 行 為	41	3			1	45
急 病	2,364	486	5	12	4	2,871
そ の 他	198	92				290
合 計	3,383	757	6	23	6	4,175

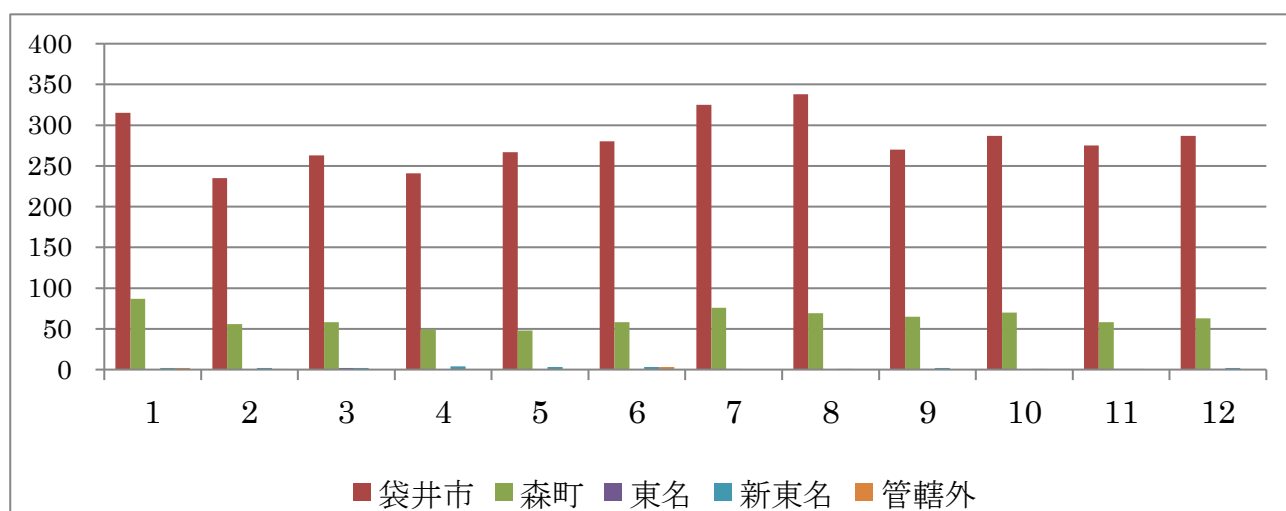
4 年齢別搬送人員

男 1,810 人 女 1,570 人 合計 3,380 人



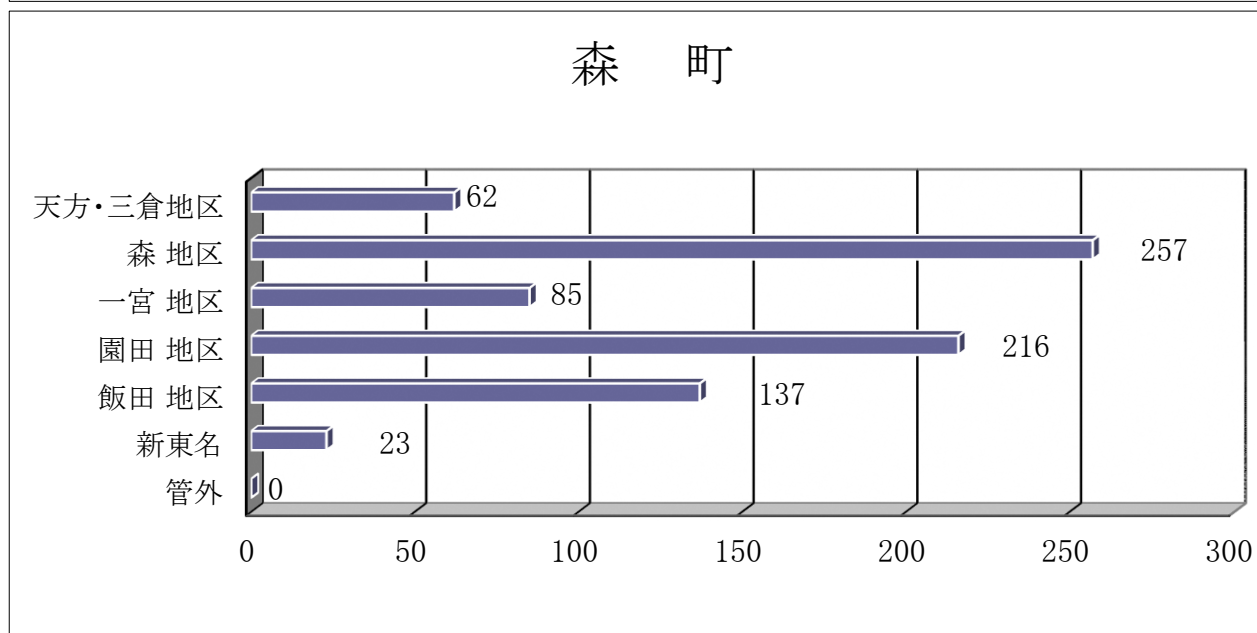
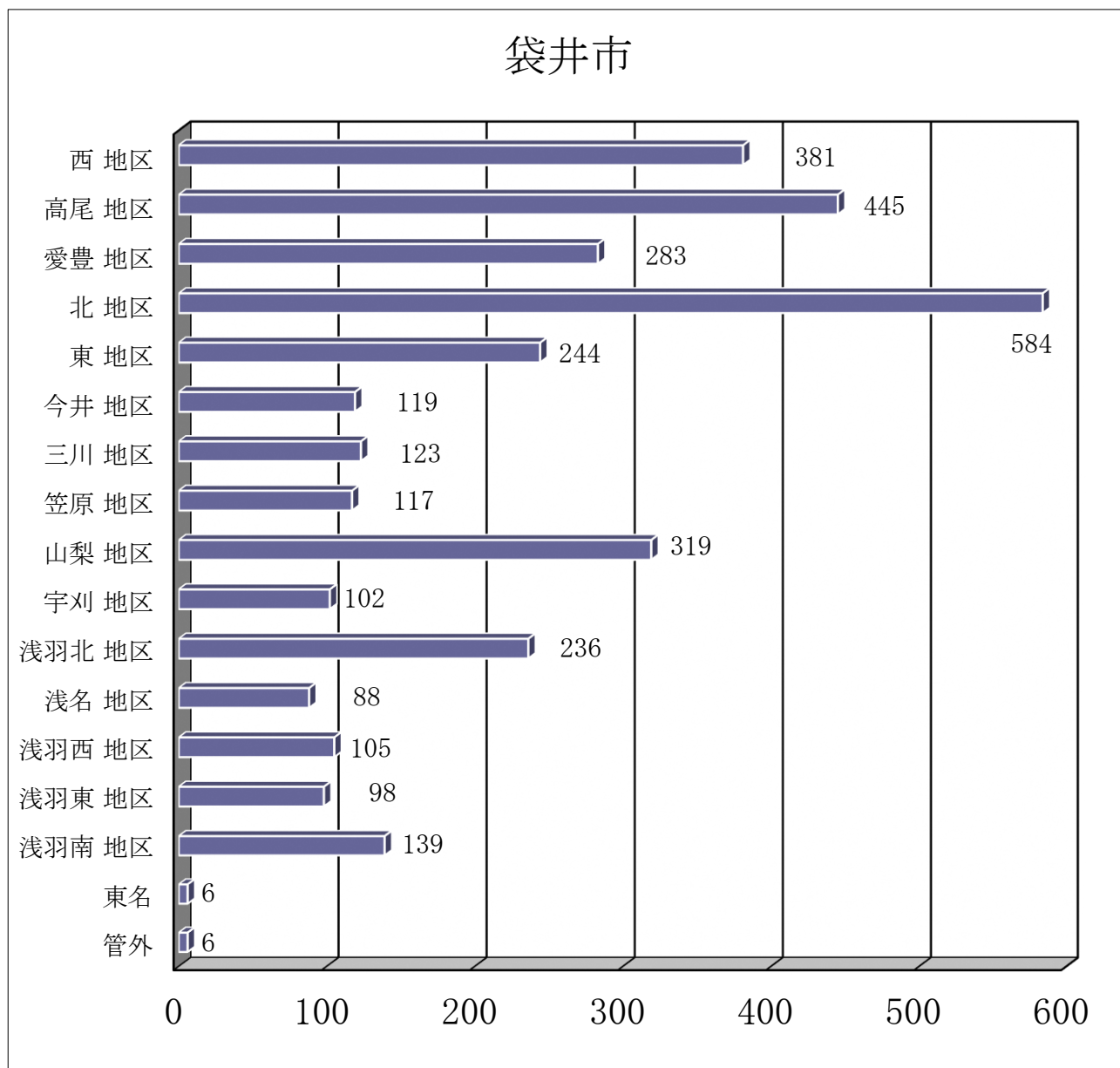
	0～ 9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80以上
男	107	66	68	85	115	174	225	406	564
女	78	43	70	78	93	120	138	245	705
合計	185	109	138	163	208	294	363	651	1,269

5 市町等月別救急出動件数

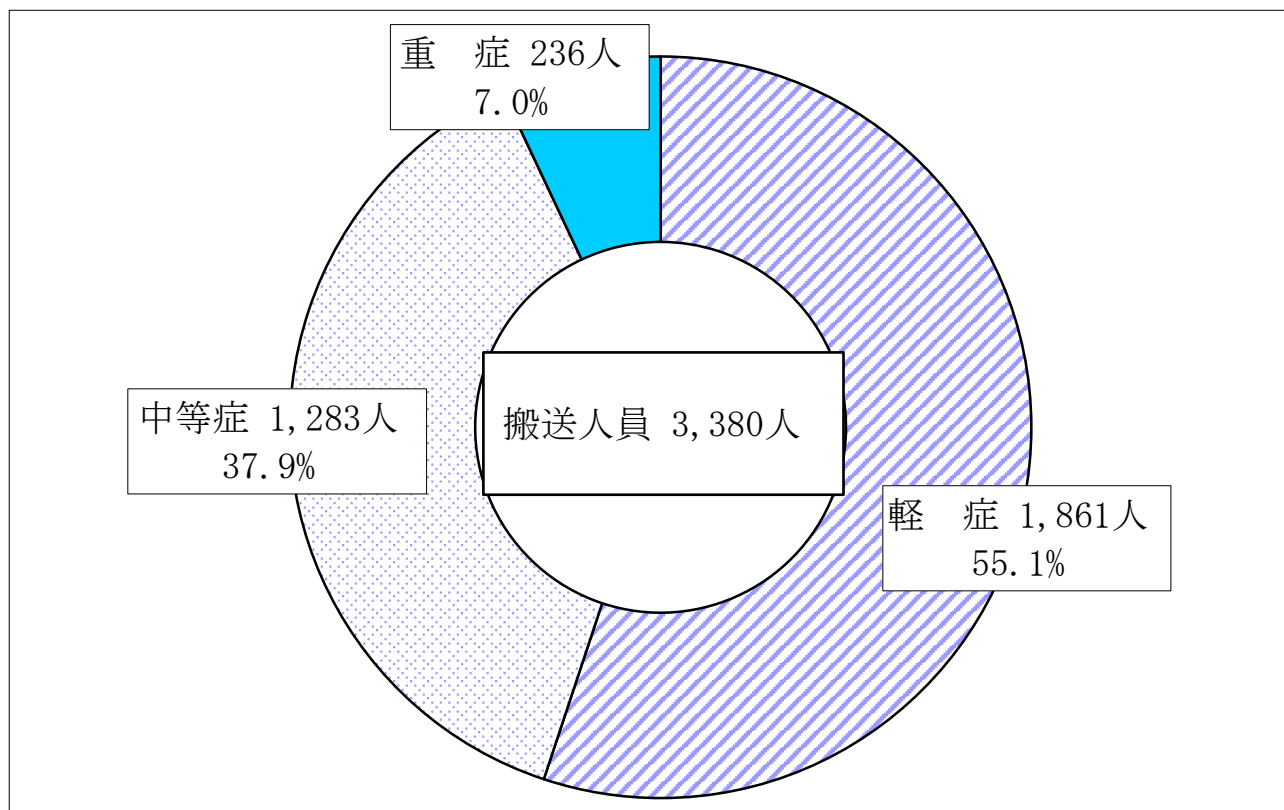


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
袋井市	315	235	263	241	267	280	325	338	270	287	275	287
森町	87	56	58	49	48	58	76	69	65	70	58	63
東名			2				1		1		1	1
新東名	2	2	2	4	3	3		1	2	1	1	2
管轄外	2	1				3						
合計	406	294	325	294	318	344	402	408	338	358	335	353

6 地区別出動件数



7 傷病程度別搬送人員



8 医療機関別搬送人員

管内医療機関名	傷病者住所			管外医療機関名	傷病者住所		
	袋井市	森町	その他		袋井市	森町	その他
中東遠総合医療センター	1,984 人	112 人	288 人	磐田市立総合病院	251 人	90 人	43 人
公立森町病院	74 人	372 人	68 人	浜松医科大学附属病院	16 人	5 人	4 人
森町家庭医療クリニック	1 人		1 人	聖隷浜松病院	15 人	2 人	4 人
上杉内科クリニック	1 人			島田市立総合医療センター		1 人	9 人
袋井市立聖隷袋井市民病院	1 人			聖隷三方原病院	2 人	5 人	2 人
小早川整形リウマチクリニック	1 人			服部病院	6 人	1 人	1 人
				浜松労災病院	3 人		1 人
				浜松赤十字病院	1 人	2 人	
				豊田えいせい病院	2 人		
				浜松医療センター	2 人		
				遠州病院	2 人		
				菊川市立総合病院	1 人		
				藤枝市立総合病院			1 人
				天竜病院			1 人
				ティアラウィメンズクリニック	1 人		
				すずかけセントラル病院	1 人		
				静岡済生会総合病院			1 人
				松田病院	1 人		
小 計	2,062 人	484 人	357 人	小 計	304 人	106 人	67 人
合 計				3,380 人			

9 最近 5 年間の出動件数及び救急件数

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
出動件数	3,589	3,194	3,402	3,921	4,175
救急件数	2,686	2,492	2,690	3,008	3,371

10 ドクターヘリ運用実績

	令和3年		令和4年		令和5年	
	要請件数	活動実績	要請件数	活動実績	要請件数	活動実績
袋井市	45	17	41	15	10	2
森町	4	1	7	2	15	6
合計	49	18	48	17	25	8

※活動実績とは、ドクターヘリの医師が現場で活動をした件数。

※令和5年

袋井消防庁舎・袋井市防災センター屋上ヘリポート使用実績2件

11 ドクターカー運用実績

	令和4年		令和5年	
	要請件数	活動実績	要請件数	活動実績
袋井市	35	23	173	137
森町	4	3	37	13
合計	39	26	210	150

※活動実績とは、ドクターカーの医師が現場で活動をした件数。

※令和4年10月24日、中東遠総合医療センターによるドクターカー事業開始

救

助

救 助 の 概 況

令和 5 年 1 月 1 日から令和 5 年 12 月 31 日までの救助出動状況は、出動件数 39 件、救助人員 15 人で、前年に比べ出動件数は 12 件減少し、救助人員は 13 人減少しました。

救助種別で見ると、交通事故 12 件(31%)、建物等による事故 8 件(21%)、その他の事故 8 件(21%)の 3 種別で全体の 73%を占めています。

複雑多様化する災害に対応できる資機材の充実をはじめ、高度な専門知識と技能習得に努めるとともに、救助体制の一層の充実強化を図っていきます。

1 救助活動状況

		火 災		交通事故	水難事故	風水害等	機械による事故に	建物等による事故	ガス欠及び酸欠事故	爆発事故	その他の事故	計
		建物	建物以外									
出動件数	袋井市	3		12	2			8			4	29
	森 町	3	1		2						4	10
	東 名											
	新東名											
	管轄外											
	計	6	1	12	4			8			8	39
活動件数	袋井市			5	1			5			1	12
	森 町				2						2	4
	東 名											
	新東名											
	管轄外											
	計			5	3			5			3	16
救助人員	袋井市			6	1			2			1	10
	森 町				2						3	5
	東 名											
	新東名											
	管轄外											
	計			6	3			2			4	15

2 事故種別発生場所別出動状況

事故種別 区 分			火災		交通事 故	水難事 故	風水害等	機 械 よる事 故に	建物 よる事 故に	ガス及 酸欠事 故	爆発事 故	その 他の 事 故	計
			建物	建 以 物 外									
屋 内	住居		4						8				12
	その他の屋内		2									1	3
屋 外	道 路	高速自動車道											
		その他の道路			10								10
	水 面	内水面				4							4
		外水面											
	山岳											2	2
	その他の屋外			1	2							5	8
地下													
その他													
計			6	1	12	4			8			8	39

3 月別出動状況

市町別	出動・活動	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
袋井市	出動件数	2	3	2	3			1	6	4	2	1	5	29
	(うち活動件数)		2		2			1	2	2	1		2	12
森 町	出動件数		1		1		2	1			1	3	1	10
	(うち活動件数)		1				1	1				1		4
東 名	出動件数													
	(うち活動件数)													
新東名	出動件数													
	(うち活動件数)													
管轄外	出動件数													
	(うち活動件数)													
計	出動件数	2	4	2	4		2	2	6	4	3	4	6	39
	(うち活動件数)		3		2		1	2	2	2	1	1	2	16

4 最近5年間の救助出動及び活動件数

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
出動件数	45	37	53	51	39
活動件数	16	12	24	27	16
救助人員	17	13	23	28	15

5 救助工作車積載装備品一覧

(数量)

一般救助器具	
かぎ付きはしご	1
三連はしご	1
ワイヤはしご	1
救命索発射銃	1
サバイバースリング	1
救助用縛帯	4
平担架	1
ロープ	複数
カラビナ	40
滑車	9
重量物排除用器具	
油圧スプレッダー	1
可搬ウィンチ	1
ワイヤロープ	8
救助用簡易起重機	1
マット型空気ジャッキ式	1
大型油圧スプレッダー	1
切断用器具	
油圧切断機	1
エンジンカッター	1
チェーンソー	1
鉄線カッター	1
空気鋸	1
大型油圧切断機	1
空気切断機	2
破壊用器具	
万能斧	3
ハンマー	1
携帯用コンクリート破壊器具	1
検知・測定用器具	
化学剤検知器	1
可燃性ガス測定器	2

呼吸保護用器具	
空気呼吸器	5
予備ボンベ	4
防塵マスク	5
送排風機	1
隊員保護用器具	
革手袋	3
耐電手袋	2
墜落制止用器具	6
防塵メガネ	3
携帯警報器	5
化学防護服	4
耐電衣一式	2
検索用器具	
簡易画像検索機	1
水難救助用器具	
救命胴衣	4
救命浮環	1
山岳救助用器具	
バスケット担架	1
その他の救助用器具	
投光器一式	1
携帯投光器	4
防爆ライト	1
携帯拡声器	2
携帯無線機	5
応急処置用セット	1
ロープ登降機	4
発電機	1



【エンブレムの紹介】

袋井市森町広域行政組合を構成している袋井市と森町の鳥と花（袋井市 フクロウ・コスモス、森町 カワセミ・ゆり）を配置することで、両市町の団結を表現し、色彩は、消防をイメージできるオレンジ、赤、青としています。

このデザインは、地域の次代を担う袋井市、森町の中高生を対象に公募を行い選定しました。

令和 5 年版 消防年報

令和 6 年 6 月 発行

編集・発行 袋井市森町広域行政組合
〒437-0012
静岡県袋井市国本 2907 番地
T E L 0538-42-0119（代表）

高まる防災意識や複雑多様化する災害へ
迅速・的確に対応する消防防災拠点施設



袋井市森町広域行政組合袋井消防本部

袋井消防本部 〒437-0012 静岡県袋井市国本 2907 番地 TEL 0538-42-0119 (代表)

◇総務課	消防総務係	TEL 0538-44-5111	FAX 0538-44-5113
◇警防課	警防企画係	TEL 0538-44-5112	FAX 0538-44-5113
◇予防課	予防企画係	TEL 0538-44-5114	FAX 0538-44-5113
	危険物係	TEL 0538-44-5115	FAX 0538-44-5113

◇袋井消防署	〒437-0012 袋井市国本 2907 番地	TEL 0538-44-5119	FAX 0538-43-5751
◇浅羽分署	〒437-1102 袋井市浅名 1045 番地	TEL 0538-23-0119	FAX 0538-23-3222
◇山梨分遣所	〒437-0125 袋井市上山梨三丁目 27 番地の 4	TEL 0538-49-3119	FAX 0538-49-3122
◇森分署	〒437-0215 周智郡森町森 48 番地の 2	TEL 0538-85-0119	FAX 0538-85-3950